

EPSON

DS-900WN
Epson Print Admin Serverless

導入・管理ガイド

目次

はじめに	4	設定できる認証情報の読み取り方法	24
本書について	4		
マニュアルの見方	4	ライセンスキーの登録	25
マークの意味	4	ライセンスキーの取得について	25
掲載画面	4	Web Configでライセンスキーを登録する	25
OS表記の仕方	4	Epson Device Adminでライセンスキーを登録する	26
マニュアルで使用する用語	5	設定テンプレートを新規作成する	26
		ライセンスキーをインポートする	27
		設定テンプレートを適用する	28
管理者パスワードに関するご注意	7		
管理者パスワードに関するご注意	7	情報の登録とシステム設定	31
管理者パスワードの初期値	7	Web Configを使った個別設定	31
管理者パスワードの入力が必要な操作	7	Epson Print Admin Serverless 設定メニューを使う	31
管理者パスワードの変更	7	ユーザー認証設定をする (Web Config)	32
管理者パスワードの初期化	7	ユーザー情報の登録 (Web Config)	34
		クラウドディレクトリーサービスと連携するための設定 (Web Config)	39
		LDAPサーバーとの連携 (Web Config)	43
		オプションの設定 (Web Config)	45
		Epson Device Admin (設定テンプレート) を使った一括設定	53
		Epson Device Admin (設定テンプレート) の操作概要	54
		ユーザー認証設定をする (設定テンプレート)	56
		認証装置を設定する (設定テンプレート)	58
		スキャン to マイフォルダー機能を設定する (設定テンプレート)	59
		スキャン to (ネットワーク)フォルダー機能の宛先編集を禁止する (設定テンプレート)	62
		クラウドディレクトリーサービスと連携するための設定 (設定テンプレート)	62
		LDAPサーバーと連携する (設定テンプレート)	66
		ユーザー情報の登録 (設定テンプレート)	70
		その他の設定 (設定テンプレート)	74
認証方式の概要	9		
		運用・管理	78
		Epson Device Adminを使ったユーザーレポート	78
		ユーザーレポートを生成する	78
		レポート出力の項目	83
システム条件	11		
クライアントコンピューター	11		
セットアップの概要	12		
セットアップに使うソフトウェア	12		
Web Config	12		
Epson Device Admin	14		
認証方式による必要な設定	15		
個別セットアップの流れ	16		
一括セットアップの流れ	17		
アプリケーションの機能差	18		
認証装置の接続	23		
認証装置の接続	23		
認証装置の接続確認	23		
認証カードが読み取れるか確認する	23		

Epson Device Adminを使ったスキャナー の管理	83
Epson Print Admin Serverless / 認証機能 設定メニューを表示する	84
ユーザー情報のメンテナンス	85
Web Configを使ったスキャナーの情報確認	89
メール通知とスナップショット	89
設定のバックアップ	90
Web Config設定	90
Epson Device Admin設定テンプレート	91
操作パネルから管理者としてログオンする	92
Epson Print Admin Serverlessの無効設定 ...	93
Web Configから無効にする	93

困ったときは 94

認証カードが読みとれない	94
Web Configにアクセスできない	94
スキャナーのIPアドレスが設定されていない	94
WebブラウザがSSL/TLSの暗号強度に対応 していない	94
CA署名証明書の有効期限が切れた	94
証明書とスキャナーのコモンネームが一致して いない	95
ブラウザにローカルアドレスのプロキシサー バー設定がされていない	95
コンピューターの設定でDHCPが無効になっ ている	95
Epson Print Admin Serverlessを有効に できない	95
ライセンスキーが期限切れと表示される	96
Epson Device Adminのレポートに内容が ない	96

付録 97

スキャナーに記録されるユーザー情報	97
商標	97
ご注意	97

はじめに

本書について

本書は、Epson Print Admin Serverlessシステムの導入から日常のメンテナンスまでを説明しています。本書に記載されていないスキャナーの機能については、スキャナーのマニュアルをご覧ください。

マニュアルの見方

マークの意味

△ 注意 この内容を見逃して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

重要 必ず守っていただきたい内容を記載しています。この内容を見逃して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。

参考 補足情報や参考情報を記載しています。

関連情報

➔ 関連したページにジャンプします。

掲載画面

機種や設定状況により画面の設定項目は異なることがあります。

OS表記の仕方

Windows

本書では、以下のOS（オペレーティングシステム）をそれぞれ「Windows 11」「Windows 10」「Windows 8.1」「Windows 8」「Windows 7」「Windows Server 2022」「Windows Server 2019」「Windows Server 2016」「Windows Server 2012 R2」「Windows Server 2012」「Windows Server 2008 R2」「Windows Server 2008」と表記しています。また、これらの総称として「Windows」を使用しています。

- Microsoft® Windows® 11 operating system日本語版
- Microsoft® Windows® 10 operating system日本語版

はじめに

- Microsoft® Windows® 8.1 operating system日本語版
- Microsoft® Windows® 8 operating system日本語版
- Microsoft® Windows® 7 operating system日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2022 operating system日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2019 operating system日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2016 operating system日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2012 R2 operating system日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2012 operating system日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2008 R2 operating system日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2008 operating system日本語版

Mac OS

本書では、「Mac OS X 10.9」以降、「macOS 10.12」以降の総称として「Mac OS」を使用しています。

マニュアルで使用する用語

Epson Print Admin Serverless

スキャナーを使うユーザーの認証をスキャナー本体だけで行えるエプソン製のシステムです。

ライセンスキー

Epson Print Admin Serverlessを有効にするキーです。

ユーザーID

Epson Print Admin Serverlessの認証ユーザーの固有IDです。

ID 番号

ユーザーIDに関連付けられた4～8桁の数字です。

ユーザー情報

ユーザーID、パスワード、ID番号、メールアドレスなど、認証のためのユーザーに関する情報の総称です。

認証装置

ICカードリーダーなど本人を認識する情報を入力する装置です。

システム管理者

企業や組織などでデバイスやネットワークに関して設置や設定をする権限を持つ人を指しています。小規模な組織ではネットワーク管理者、デバイス管理者を兼ねているケースがあります。大規模な組織では、部や課といった組織のグループ内のネットワークや機器に関しての権限を持つ人を指し、インターネットなど組織外への通信設定の権限はネットワーク管理者が担います。

はじめに

Microsoft Entra ID

Microsoftが提供するクラウドベースのIDおよびアクセス管理サービスです。

Microsoft 365

Microsoftが提供するクラウドを利用したサブスクリプションサービスです。

LDAPサーバー

LDAPで通信できるディレクトリサービスを提供しているサーバーを指します。Windows serverのActive DirectoryやLinuxのOpenLDAPなどがあります。

Unicode (UTF-8)

国際的な文字コード規格です。世界中の主な言語で主に使われる文字をカバーしています。「UTF-8」とある場合、UTF-8形式で符号化した文字を指します。

ASCII (アスキー、American Standard Code for Information Interchange)

標準的な文字コードの一つです。アルファベット (a-z、A-Z) やアラビア数字 (0-9)、記号、空白文字、制御文字などを収録した128文字が規定されています。本書で「ASCII」と表記している場合、下表にある0x20~0x7E (16進数) を指し、制御文字は含みません。

	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	0A	0B	0C	0D	0E	0F
20	SP*	!	"	#	\$	%	&	'	()	*	+	,	-	.	/
30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
40	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
50	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[\]	^	_
60	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
70	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{		}	~	

* 空白文字 (スペース) です。

管理者パスワードに関するご注意

管理者パスワードに関するご注意

本製品はネットワーク接続時に、製品本体に保持されている本体設定やネットワーク設定が第三者から不正に参照されたり、変更されたりすることを防ぐため、管理者パスワードの設定ができます。


管理者パスワードを設定しておくことで、Web Configなどの設定ソフトウェアで設定の変更をするときにパスワードの入力が必要になります。

スキャナーに管理者パスワードが初期設定されていますが、任意のパスワードを設定することができます。

管理者パスワードの初期値

管理者パスワードの購入時の設定（初期値）は、スキャナーの製造番号（シリアルナンバー）です。製造番号は、スキャナーの背面に貼られているラベルをご確認ください。

管理者パスワードを初期値から変更することをおすすめします。

 **参考** ユーザー名の初期値は空欄です。

管理者パスワードの入力が必要な操作

以下の操作で管理者パスワードの入力を要求されたときは、製品本体に設定されている管理者パスワードを入力してください。

- Web Configの詳細設定にログオンするとき
- 操作パネルで管理者ロックがかかったメニューを操作するとき
- アプリケーションで本体の設定変更をするとき
- 本体のファームウェアをアップデートするとき
- 管理者パスワードの変更や初期化をするとき

管理者パスワードの変更

製品の操作パネル、およびWeb Configから変更できます。

パスワードを変更する場合は、8文字以上20文字以下の半角英数字および記号で設定してください。

管理者パスワードの初期化

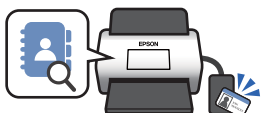
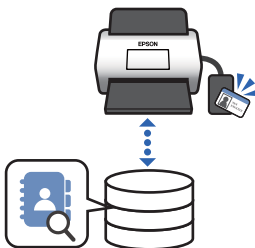
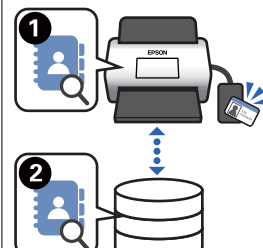

製品の操作パネル、およびWeb Configで、管理者パスワードを初期設定に戻すことができます。

管理者パスワードに関するご注意

パスワード忘れにより、初期設定に戻せない場合は修理が必要です。お住まいの地域の販売店にお問い合わせください。

認証方式の概要

Epson Print Admin Serverlessを使用すると、以下の方法で認証できます。

	本体認証	外部認証	本体認証と外部認証	みなし認証
ユーザー情報の照合先	<p>本体メモリ スキャナーに登録されているユーザー情報と、スキャンを利用するユーザー情報を照合して認証します。</p>	<p>クラウドディレクトリーサービスまたはLDAPサーバー* 連携している外部認証を使ってユーザー情報を照合して認証します。利用できる外部認証は以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Microsoft Entra ID 認証 • LDAPサーバー認証 <p>外部認証のユーザー情報は300件までスキャナー本体にキャッシュとして一時的に保存されるため、外部認証の障害時にはキャッシュを使って認証ができます。 * LDAPで通信できるディレクトリーサービスを提供しているサーバー</p>	<p>本体メモリ、およびクラウドディレクトリーサービスまたはLDAPサーバー 先にスキャナーに登録されているユーザー情報を照合して (1)、該当がなかった場合に外部認証のユーザー情報を照合します (2)。 利用できる外部認証は以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Microsoft Entra ID 認証 • LDAPサーバー認証 	<p>ユーザー照合なし あらかじめスキャナーに登録したIDカードのフォーマット情報を使って簡易的に認証します。認証情報には、IDカード内の企業名や組織名などスキャナーを利用するユーザーに共通する情報のあるブロックを設定します。IDカードのフォーマット情報は1種類のみ指定できます。 個々のユーザー情報を使用しないため、ユーザー情報を利用した機能は使用できません。</p>
				
登録ユーザー数	300件 (本体)	無制限 (外部認証)	300件 (本体) 無制限 (外部認証)	-
本体のキャッシュ*	-	300件	最大300件 (本体認証の登録ユーザーの空きを外部認証のキャッシュとして利用)	-
ログオンの手段	<p>以下の手段のいずれかでログオンできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 認証カードをかざす • [ユーザーID] と [パスワード] を入力 • [ユーザーID] を入力 • [ID番号] を入力 			<p>認証カードをかざす</p>

認証方式の概要

	本体認証	外部認証	本体認証と外部認証	みなし認証
スキャンto機能の制限	ユーザーごと個別に設定	外部認証ユーザー全員に同じ設定	本体認証ユーザー：個別に設定 外部認証ユーザー：全員に同じ設定	-
お気に入りのユーザーへの割り当て	1ユーザーにつき5件まで	- (個別設定不可)	本体認証ユーザー：1ユーザーにつき5件まで 外部認証ユーザー：-	-

*スキャナー本体にキャッシュとして保存された外部認証のユーザー情報は、本体の全ての設定を購入時の設定に戻すと破棄されます。全ての設定を購入時の状態に戻すには、操作パネルで [設定] - [管理者用設定] - [購入時の設定に戻す] - [全ての設定] の順に選択してください。

システム条件

クライアントコンピューター

オペレーティングシステム

- Windows
Windows 7～
Windows Server 2008～
- Mac OS
Mac OS X 10.9～、macOS 10.12～

Web Config用ブラウザ

対応しているブラウザは以下の通りです。最新バージョンをお使いください。
Microsoft Edge、Firefox、Chrome、Safari

スキャナードライバー

- Windows：機種用標準ドライバー
- Mac OS：機種用標準ドライバー

セットアップの概要

一度に導入するスキャナーの数やネットワーク環境によって、異なるセットアップ方法が選択できます。個別に設定する場合はWeb Configを使います。Epson Device Adminを使うと複数のスキャナーを一度に設定できます。

重要

- セットアップするには管理者パスワードが必要になります。
- Epson Print Admin Serverlessをセットアップするときに、ユーザーアカウント情報やユーザーパスワードなどの個人情報やセキュリティー設定をスキャナー本体に登録する必要がある場合があります。スキャナー本体での個人情報やセキュリティー設定の扱いの詳細については、スキャナーの「ユーザーズガイド」を参照してください。

関連情報

➔ [「管理者パスワードに関するご注意」7ページ](#)

セットアップに使うソフトウェア

セットアップに使うソフトウェアを紹介します。

Web Config

Web Configは、設定確認や変更がブラウザ上でできる、スキャナー内蔵のWebページです。スキャナーにネットワークから直接アクセスして操作するので、1台ずつセットアップする場合に適しています。



ブラウザでWeb Configを起動する方法

スキャナーにはWeb Configというソフトウェア（設定用Webページ）が内蔵されています。ネットワーク接続されたスキャナーのIPアドレスを、ブラウザに入力して表示します。

1. スキャナーのIPアドレスを確認します。

スキャナーの操作パネルで、[設定] - [ネットワーク設定] - [ネットワーク情報] の順に選択します。次に、スキャナーのIPアドレスを確認するために [有線・無線接続状態] または [Wi-Fi Direct接続状態] で実行中の接続方法を選択します。

IPアドレスの例：192.168.100.201

2. コンピューターまたはスマートデバイスでブラウザを起動して、アドレスバーにスキャナーのIPアドレスを入力します。

書式：http://スキャナーのIPアドレス/

例：http://192.168.100.201/

ブラウザ上に警告画面が表示されたときは、警告を無視してWebページ（Web Config）を表示してください。HTTPSにアクセスするときにスキャナーは自己署名証明を使うため、Web Configを起動すると警告が表示されますが、これは問題ではなく、無視しても安全です。ブラウザによっては、Webページを表示するために [詳細設定] をクリックする必要があります。

例：Microsoft Edgeの場合



参考

- 警告画面が表示されなかったときは、次の手順に進みます。
- IPv6アドレスの場合は、次の書式で入力します。
書式：http://[スキャナーのIPアドレス]/
例：http://[2001:db8::1000:1]/

3. Web Configの管理者としてログオンして、スキャナーの設定を変更します。

画面の右上の [ログオン] をクリックします。 [ユーザー名] と [現在のパスワード] を入力し、 [確認] をクリックします。

Web Configの管理者情報の購入時の設定（初期値）は以下の通りです。

- ・ユーザー名：なし（空欄）

セットアップの概要

・パスワード：スキャナーの製造番号（シリアルナンバー）
製造番号は、スキャナー背面に貼られているラベルをご確認ください。

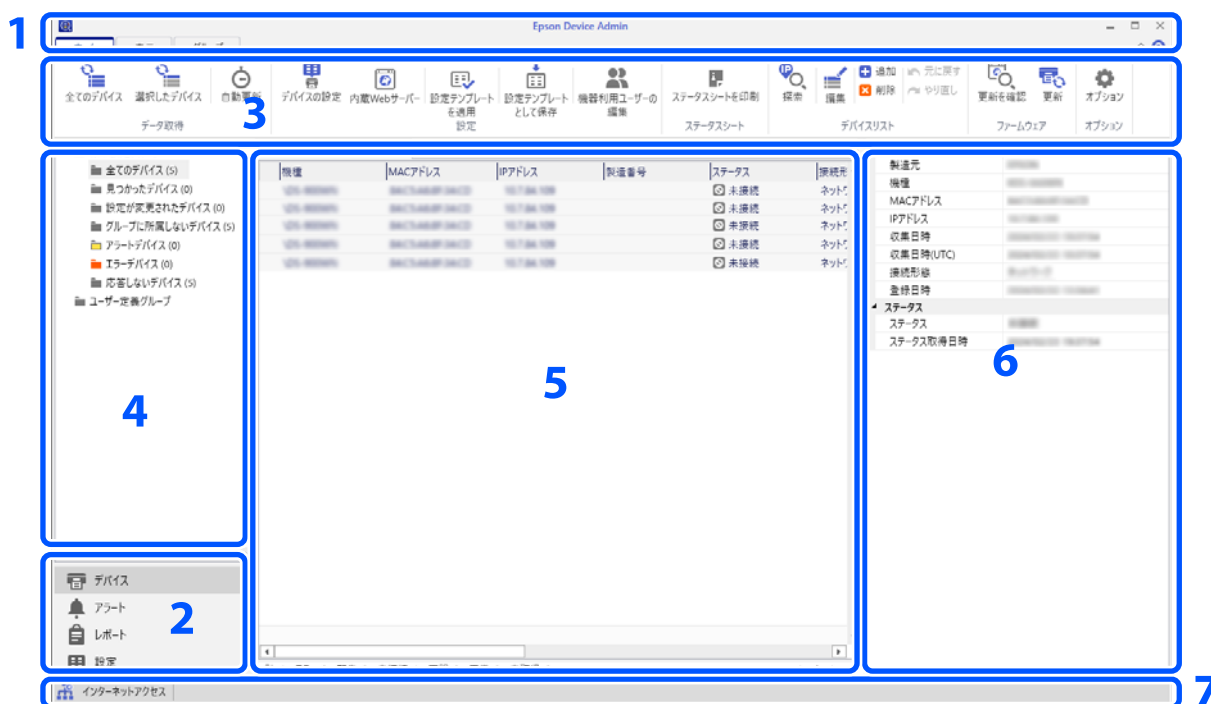
- 参考**
- ・ [ログオフ] が画面右上に表示されているときは、すでに管理者としてログオンしています。
 - ・ 何も操作しない状態が約20分続くと自動的にログオフします。

Epson Device Admin

Epson Device Adminは、ネットワーク上のデバイスを管理するアプリケーションソフトです。以下のような機能があるため、複数のスキャナーを導入、管理する場合に適しています。

- ・ セグメントを越えた複数のスキャナーに統一した設定値を適用する
- ・ 使用履歴などの詳細なレポートを出力する

Epson Device Adminはエプソンのウェブサイトからダウンロードしてください。詳細はEpson Device Adminのヘルプやマニュアルをご覧ください。



Epson Device Adminのトップ画面は以下のペインで構成されています。トップ画面はサイドバタスクメニューで選択されている項目に応じて表示が切り替わります。

番号	ペイン	説明
1	タイトルバー	🔍 をクリックすると、Epson Device Adminの各項目の説明が記載されたHelpが起動します。
2	サイドバタスクメニュー	使用する機能を切り替えます。選択した項目に従って画面全体が切り替わります。
3	リボンメニュー	サイドバタスクメニューで選択されている機能のメニューが表示されます。

セットアップの概要

番号	ペイン	説明
4	サイドバーコンテンツ	サイドバータスクメニューで選択されている機能のツリー構造が表示されます。
5	表示ビュー	サイドバータスクメニュー、サイドバーコンテンツで選択されている機能に応じた情報や設定内容などが表示されます。
6	デバイス詳細情報	サイドバータスクメニューで [デバイス] が選択されているとき、デバイスリストで選択しているデバイスの詳細が表示されます。
7	ステータスバー	サイドバータスクメニューで [デバイス] が選択されているとき、デバイスリストのステータス情報が表示されます。

Epson Device Adminにスキャナーの管理者パスワードを登録する

Epson Device Adminを使ってスキャナーを設定する前に、Epson Device Adminにスキャナーの管理者パスワードを登録します。

参考 スキャナーの管理者パスワードを変更した場合は、Epson Device Adminに登録されているスキャナーの管理者パスワードを更新してください。

1. Epson Device Adminを起動します。
2. サイドバータスクメニューで [デバイス] を選択します。
3. [オプション] - [パスワード管理] を選択します。
4. [自動パスワード管理機能を有効にする] にチェックを付けて、[パスワード管理] をクリックします。
5. 該当するスキャナーを選択して [編集] をクリックします。
6. パスワードを設定して、[登録/更新] をクリックします。

認証方式による必要な設定

認証方式によって必要な設定が異なります。下表を参照して、設定を行ってください。

設定	本体認証	外部認証	本体認証と外部認証	みなし認証
認証装置の接続、設定	○*1	○*1	○*1	○
ライセンスキーの登録	○	○	○	○
ユーザー認証設定	○	○	○	○
ユーザー情報登録	○	×	○	×

セットアップの概要

設定	本体認証	外部認証	本体認証と外部認証	みなし認証
クラウドディレクトリーサービスと連携するための設定	○*2	○*2	○*2	×
Microsoft Entra ID認証の設定	×	○*3	○*3	×
LDAPサーバーの設定	×	○	○	×
メールサーバーの設定	○*4	○*4	○*4	○*7
スキャン to マイフォルダー設定	○*5	○*5	○*5	×
利用者制限設定	○	○	○	○
認証しないで使用できる機能の設定	○*6	○*6	○*6	○*6

*1 : 認証手段に [認証カード / ユーザーIDとパスワード]、[認証カード / ID番号] を選択する場合

*2 : クラウドディレクトリーサービスとの連携を使用する場合

*3 : Microsoft Entra ID認証を使用する場合

*4 : [スキャン to マイメール 機能]、[スキャン to メール 機能]、または通知メール機能を使用する場合

*5 : [スキャン to マイフォルダー機能] を使用する場合

*6 : スキャナーの機能を認証しないで使用する場合

*7 : [スキャン to メール 機能] または通知メール機能を使用する場合

参考 本書では、Epson Print Admin Serverlessでの認証に必要な設定を説明しています。スキャナーのセキュリティ機能など本書にない設定項目について、詳しくはスキャナーの『システム管理者ガイド』をご覧ください。

個別セットアップの流れ

スキャナーにEpson Print Admin Serverlessを1台ずつセットアップする流れを説明します。Web Configを使うとブラウザだけでセットアップできます。

！重要

設定を始める前にスキャナーの時刻設定が正しいか確認してください。

時刻設定が正しくないと「ライセンスが期限切れです」というエラーメッセージが表示され、Epson Print Admin Serverlessのセットアップができなくなります。また、SSL/TLS通信やIPsecなどセキュリティー機能を使用する場合も正しい時刻設定が必要です。時刻は以下から設定できます。

- Web Config : [デバイス管理] タブ - [日付/時刻] - [日付/時刻]
- スキャナーの操作パネル : [設定] - [基本設定] - [日付/時刻設定]

手順	作業概要	内容
1	認証装置の接続*1	スキャナーへの認証装置の接続/動作確認 認証装置をスキャナーに接続します。
2	ライセンスキーの登録*2	ライセンスキーの入力 Web Configを使って、スキャナーのEpson Print Admin Serverlessを有効にします。

セットアップの概要

手順		作業概要	内容
3	Epson Print Admin Serverlessを設定する	認証の設定	認証方式と認証手段を設定します。
		ユーザー情報の登録	ユーザー情報を登録します。 認証方式によって以下を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ファイルからのインポート 外部認証（Microsoft Entra ID認証、LDAPサーバー認証）の連携設定
		機能の設定	設定した認証方式や認証手段に応じて、認証装置やメールサーバー、スキャン to マイフォルダー機能などを設定します。

*1 : 認証装置による認証方式を使用する場合に設定します。

*2 : 販売店等によって設定済みの場合があります。

関連情報

➔ [「Web Configを使った個別設定」 31ページ](#)

一括セットアップの流れ

複数のスキャナーにEpson Print Admin Serverlessをセットアップする流れを説明します。Epson Device Adminの設定テンプレートを使うと効率よくセットアップできます。

！重要

設定を始める前にスキャナーの時刻設定が正しいか確認してください。

時刻設定が正しくないとログやレポートの記録時刻が不正確になり、不正使用や情報漏えいなどの追跡が困難になります。また、SSL/TLS通信やIPsecなどセキュリティー機能を使用する場合も正しい時刻設定が必要です。時刻は以下から設定できます。

- Web Config : [デバイス管理] タブ - [日付/時刻] - [日付/時刻]
- スキャナーの操作パネル : [設定] - [基本設定] - [日付/時刻設定]

手順		作業概要	内容
1	認証装置の接続*1	スキャナーへの認証装置の接続/動作確認	認証装置をスキャナーに接続します。
2	ライセンスキーの登録*2	設定テンプレートの新規作成	設定テンプレートを使って、複数のスキャナーのEpson Print Admin Serverlessを有効にします。
		ライセンスキーのインポート	
		設定テンプレートの適用	

セットアップの概要

手順		作業概要	内容
3	Epson Print Admin Serverlessの設定	設定テンプレートの編集、または新規作成	設定テンプレートを編集または新規作成します。
		認証の設定	認証方式と認証手段を設定します。
		機能の設定	設定した認証方式や認証手段に応じて、認証装置やメールサーバー、スキャン to マイフォルダー機能などを設定します。
		ユーザー情報の登録	ユーザー情報を登録します。 認証方式によって以下を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 外部認証（Microsoft Entra ID認証、LDAPサーバー認証）の連携設定 ファイルやLDAPサーバーからのインポート
		設定テンプレートの適用	設定テンプレートをスキャナーに適用します。

*1 : 認証装置による認証方式を使用する場合に設定します。

*2 : 販売店等によって設定済みの場合があります。

関連情報

➔ [「Epson Device Admin（設定テンプレート）を使った一括設定」53ページ](#)

アプリケーションの機能差

それぞれのアプリケーションソフトで設定できる項目です。（○＝設定可、×＝設定不可）

プロダクトキー/ライセンスキー

項目	Web Config	Epson Device Admin
プロダクトキー/ライセンスキー	○	○

認証設定

項目	Web Config	Epson Device Admin
認証方式	○	○
認証手段	○	○
ユーザーによるカード登録を許可する	○	○
ID番号の最小桁数	○	○
LDAPサーバー認証ユーザーのキャッシュ	○	○

セットアップの概要

項目	Web Config	Epson Device Admin
ユーザー情報をSMTP認証で使用する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
送信元アドレス	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
LDAP認証ユーザーの機能制限	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

ユーザー設定

項目	Web Config	Epson Device Admin
ユーザーID	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ユーザー表示名	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
パスワード	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
認証カードID	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ID番号	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
部門	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
メールアドレス	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
機能制限	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
お気に入り	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

利用者制限設定

項目	Web Config	Epson Device Admin
利用者制限を有効にする	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
コンピューターからの認証情報を持たないスキャンを許可する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ログオフ時にパネルからの使用を許可する	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

認証装置

項目	Web Config	Epson Device Admin
Vendor ID	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Product ID	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
動作パラメーター	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
認証装置	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
認証カードID保存フォーマット	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
認証カードIDの読み取り設定をする	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

セットアップの概要

項目	Web Config	Epson Device Admin
開始文字位置	○	○
文字数	○	○

Microsoft 365 - サインイン

項目	Web Config	Epson Device Admin
Microsoft アカウントでサインイン	○	×

Microsoft 365 - Microsoft Entra ID検索設定 (アドレス帳)

項目	Web Config	Epson Device Admin
Microsoftから検索	○	○
組織の連絡先		
検索件数上限数 (5-500)	○	○
ユーザー名属性	○	○
ユーザー表示名属性	○	○
メールアドレス属性	○	○
個人用連絡先		
検索件数上限数 (5-500)	○	○
ユーザー名属性	○	○
ユーザー表示名属性	○	○
メールアドレス属性	○	○

Microsoft 365 - Microsoft Entra ID検索設定 (Epson Print Admin Serverless)

項目	Web Config	Epson Device Admin
ユーザーID属性	○	○
ユーザー表示名属性	○	○
認証カードID属性	○	○
ID番号属性	○	○
部門属性	○	○
メールアドレス属性	○	○

LDAPサーバー - 検索設定 (Epson Print Admin Serverless)

セットアップの概要

項目	Web Config	Epson Device Admin
検索開始位置(DN)	○	○
ユーザーID属性	○	○
ユーザー表示名属性	○	○
認証カードID属性	○	○
ID番号属性	○	○
部門属性	○	○
メールアドレス属性	○	○
保存先属性	○	○

スキャン to ネットワークフォルダー 機能/スキャン to マイフォルダー機能

項目	Web Config	Epson Device Admin
保存先設定	○	○
種別	○	○
保存先	○	○
ユーザー名	○	○
パスワード	○	○
接続モード	○	○
ポート番号	○	○
宛先の直接入力を禁止する (スキャン to ネットワークフォルダー 機能)	○	○

ホーム画面編集

項目	Web Config	Epson Device Admin
1ページあたりの最大表示数	○	○
ページ数	○	○
機能割り当て	○	○

レポート

項目	Web Config	Epson Device Admin
ユーザー単位の利用レポート	×	○
部門単位の利用レポート*	×	○

セットアップの概要

項目	Web Config	Epson Device Admin
ジョブ履歴	×	○

* : 認証方式で [みなし認証] を選択している場合、部門別の集計はできません。

関連情報

- ➔ [「Web Configを使った個別設定」 31ページ](#)
- ➔ [「Epson Device Admin \(設定テンプレート\) を使った一括設定」 53ページ](#)

認証装置の接続

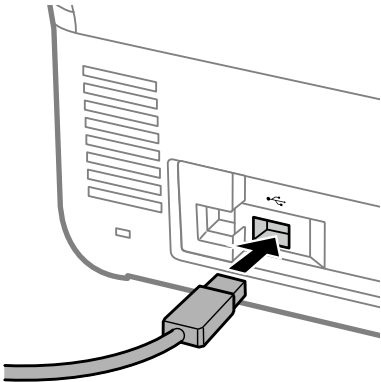
ユーザー認証用の装置を接続して設定します。認証装置を使わない場合は必要ありません。

参考 ICカードリーダー以外の認証装置の対応状況は販売店にお問合せください。

認証装置の接続

重要 複数のスキャナーに認証装置を接続する場合は、同じ型番の製品を使用してください。

認証装置のUSBケーブルを、スキャナーの外部機器接続用USBポートに差し込みます。



認証装置の接続確認

認証装置の接続状態や認証カードの認識状態は、スキャナーの操作パネルから確認できます。

[設定] - [機器情報] - [認証装置ステータス] に状態が表示されます。

認証カードが読み取れるか確認する

認証カードの読み取りをWeb Configで確認できます。

1. Web Configを起動し、[デバイス管理] タブ - [認証装置] の順に選択します。
2. スキャナーに接続されている認証装置に認証カードをかざします。
3. [確認] をクリックします。

接続テストの結果が表示されます。

[認証カード読み取り結果] が「成功」と表示されていれば、読み取りに成功しています。

設定できる認証情報の読み取り方法

認証装置からの読み取りには、以下の方法が指定できます。

Web ConfigまたはEpson Device Adminを使ってスキャナーに設定します。

設定は以下のような場合に必要です。

- 社員番号や個人IDなど、カード内の特定の情報を読み出す
- UID（製造番号などカードのID情報）以外のカード情報を使用する
動作パラメーター生成など読み取り設定は専用ツールで生成できます。詳しくは販売店にお尋ねください。
- 認証方式で「みなし認証」を使う

参考 メーカーが違う認証カードの使用について：

カード情報のUID（製造番号などカードのID情報）を使用する場合は、複数の種類の認証カードを混在して使用できます。
それ以外のカード情報を使用する場合、またはみなし認証を使用する場合は混在できません。

関連情報

- ➔ [「認証装置を設定する（Web Config）」48ページ](#)
- ➔ [「認証装置を設定する（設定テンプレート）」58ページ](#)

ライセンスキーの登録

ライセンスキーをスキャナーに登録してEpson Print Admin Serverlessを有効にします。

参考 ライセンスキーは、販売店などによって既に登録されている場合があります。その場合はEpson Print Admin Serverlessの設定へ進んでください。

関連情報

- ➔ [「Web Configでライセンスキーを登録する」 25ページ](#)
- ➔ [「Epson Device Adminでライセンスキーを登録する」 26ページ](#)

ライセンスキーの取得について

Epson Print Admin Serverlessを使用するにはライセンスキーの取得が必要です。
ライセンスキーの種類や取得方法などの詳細は販売店にお問い合わせください。

Web Configでライセンスキーを登録する

個別に設定する場合はWeb Configを使います。

- 以下のいずれかの方法でスキャナーとセットアップ用コンピューターを接続します。
 - 有線または無線 LAN で接続
有線または無線 LAN で接続する場合は、セットアップ用コンピューターと同じネットワークに接続してください。
 - LAN ケーブルで直接接続
- スキャナーの電源を入れます。
- セットアップ用コンピューターでブラウザを開き、スキャナーのIPアドレスを入力して、スキャナーのWeb Configを開きます。
[「ブラウザでWeb Configを起動する方法」 13ページ](#)
- [\[Epson Open Platform\]](#) タブ - [\[プロダクトキー/ライセンスキー\]](#) の順に選択します。
- [\[プロダクトキー/ライセンスキー\]](#) にライセンスキーを入力します。
- [\[次へ\]](#) をクリックします。
- [\[設定\]](#) をクリックします。

少し時間を置いてから [\[メニューを更新\]](#) をクリックしてWeb Configの表示を更新します。
ライセンス情報が表示されていれば [\[Epson Print Admin Serverless\]](#) は有効です。

Epson Device Adminでライセンスキーを登録する

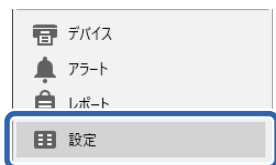
Epson Device Adminの設定テンプレートをを使うと、CSVファイルに記載した複数のライセンスキーを複数のスキャナーに一度に適用できます。

1. 設定テンプレートを新規作成します。
2. 設定テンプレートにライセンスキーを読み込みます。
3. 設定テンプレートを目的のスキャナーに適用します。

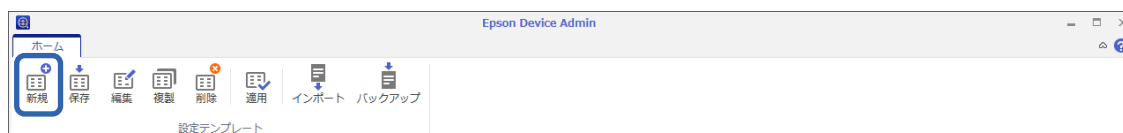
設定テンプレートを新規作成する

設定テンプレートを新規で作成します。

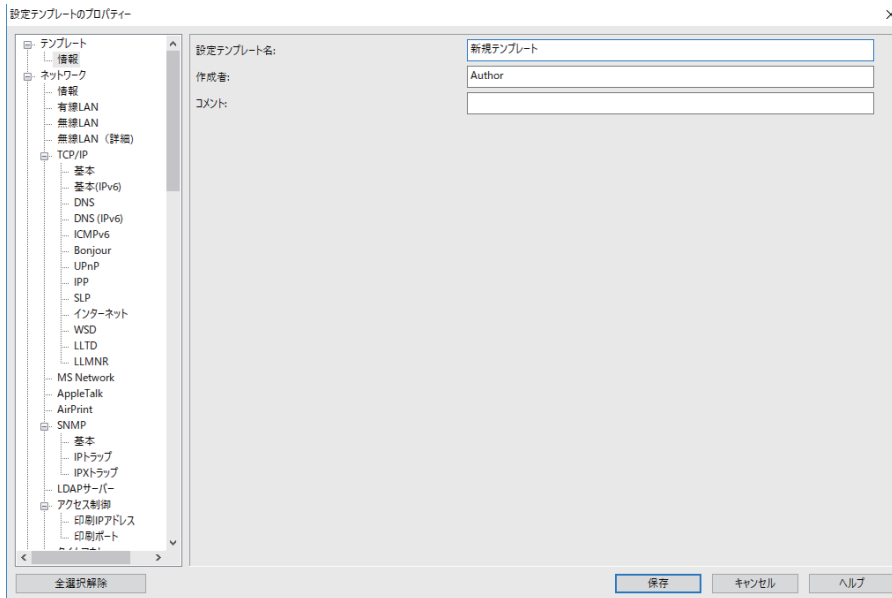
1. Epson Device Adminを起動します。
2. サイドバタスクメニューで「設定」を選択します。



3. リボンメニューで「新規」を選択します。



4. 各項目を設定します。



項目	説明
設定テンプレート名	設定テンプレートの名称です。 Unicode (UTF-8) で表せる文字で、1024文字以内で入力します。
作成者	テンプレートの作成者情報です。 Unicode (UTF-8) で表せる文字で、1024文字以内で入力します。
コメント	任意の情報を入力します。 Unicode (UTF-8) で表せる文字で、1024文字以内で入力します。

5. 左のメニューから設定したい機能を選択します。

参考 左のメニュー項目をクリックするとそれぞれの画面に切り替わります。設定した値は、キャンセルしなければ画面を切り替えても保持されます。全ての項目の設定が終了してから [保存] をクリックしてください。

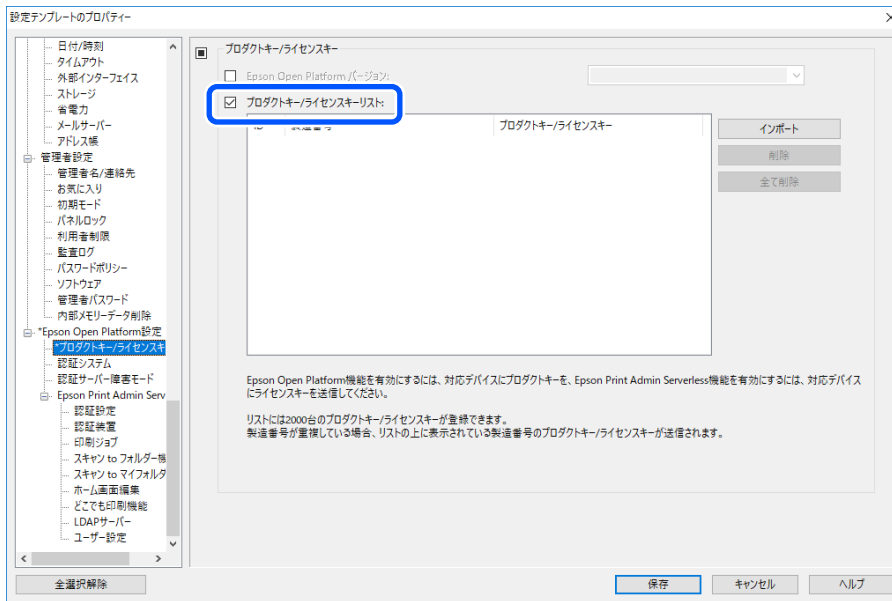
ライセンスキーをインポートする

1. 設定テンプレートから、[Epson Open Platform設定] - [プロダクトキー/ライセンスキー] を選択します。

ライセンスキーの登録

2. [プロダクトキー/ライセンスキーリスト] にチェックを付けます。

[Epson Open Platform バージョン] にチェックが付いている場合は外します。



3. [インポート] をクリックします。
4. ライセンスキーのCSVファイルを指定し、[開く] をクリックします。
ファイルが読み込まれ、内容が表示されます。

- 参考**
- リストからライセンスキーを選択して [削除] をクリックすると、リストからライセンスキーを削除できます。
 - [インポート] を再度クリックして、別のCSVファイルを追加できます。

5. [保存] をクリックします。
6. [OK] をクリックします。
7. 保存完了メッセージ画面で [OK] をクリックします。
テンプレートが保存され、画面が閉じます。

- 参考** 設定テンプレートを再度開くには、[設定テンプレート名] から保存した設定テンプレートを選択し、リボンメニューから [編集] をクリックしてください。

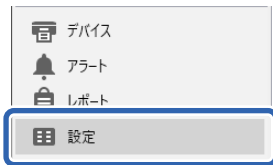
設定テンプレートを適用する

保存した設定テンプレートをスキャナーに適用します。設定テンプレートのチェックのある項目が適用されます。対象スキャナーに該当する機能がない場合は適用されません。

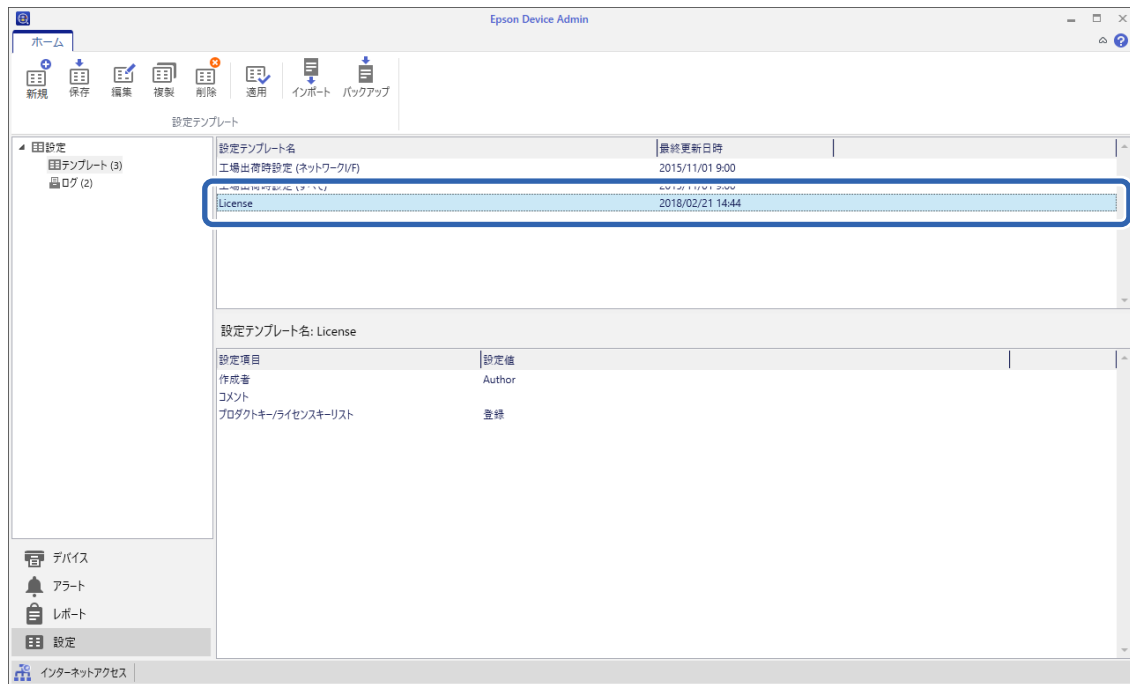
ライセンスキーの登録

- 参考** スキャナーに管理者パスワードを設定している場合、先にパスワード設定を行ってください。
1. デバイス一覧画面のリボンメニューで、[オプション] - [パスワード管理] を選択します。
 2. [自動パスワード管理機能を有効にする] を選択して、[パスワード管理] をクリックします。
 3. 該当するスキャナーを選択して [編集] をクリックします。
 4. パスワードを設定して、[登録/更新] をクリックします。

1. サイドバタスクメニューで [設定] を選択します。



2. [設定テンプレート名] から適用する設定テンプレートを選択します。



3. リボンメニューで [適用] をクリックします。

デバイス選択画面が表示されます。

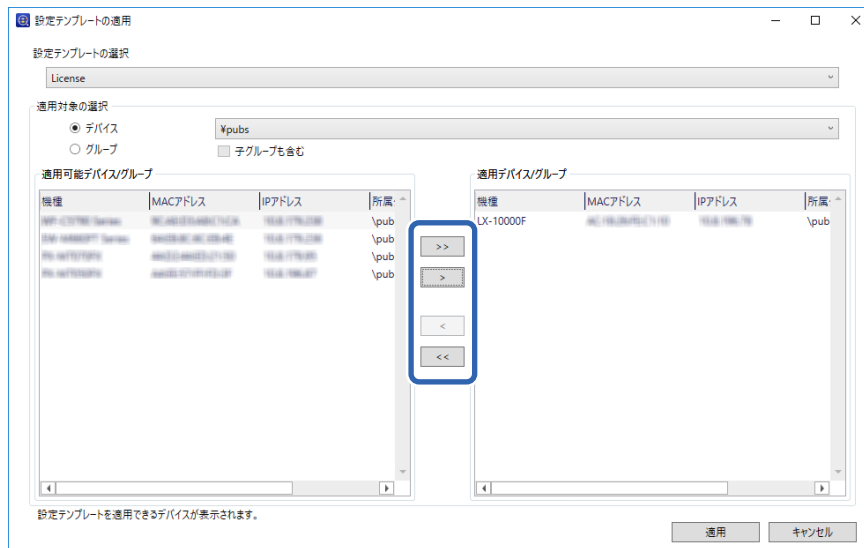


4. 適用する設定テンプレートを選択します。

- 参考**
- [デバイス] を選択してプルダウンメニューからデバイスが登録されているグループを選択すると、個々のデバイスが表示されます。
 - [グループ] を選択すると、グループが表示されます。[子グループも含む] にチェックすると、グループを選択したときに子グループも自動的に選択します。

ライセンスキーの登録

- 適用するスキャナーまたはグループを [適用デバイス/グループ] へ移動します。



- [適用] をクリックします。
設定テンプレート適用の実行確認画面が表示されます。
- [OK] をクリックして、設定テンプレートを適用します。
- 適用が完了したというメッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。
- [結果の詳細] をクリックして、適用内容を確認します。
適用した項目で が表示されていれば、適用は成功です。
- [閉じる] をクリックします。

関連情報

- ➔ [「Epson Device Admin」14ページ](#)

情報の登録とシステム設定

Epson Print Admin Serverlessの導入に必要な項目を設定します。

個別に設定する場合はWeb Configを使います。Epson Device Adminを使うと複数のスキャナーを一度に設定できます。

関連情報

- ➔ [「Web Configを使った個別設定」 31ページ](#)
- ➔ [「Epson Device Admin（設定テンプレート）を使った一括設定」 53ページ](#)

Web Configを使った個別設定

Epson Print Admin Serverlessを個別に設定する方法を説明します。

認証方式によってEpson Print Admin Serverlessを使用するために必要な設定を行ってください。詳細は関連情報をご覧ください。

関連情報

- ➔ [「認証方式による必要な設定」 15ページ](#)

Epson Print Admin Serverless設定メニューを使う

ライセンスキーを登録すると[Epson Open Platform] タブに[Epson Print Admin Serverless設定メニュー]が表示されます。この一覧に添ってEpson Print Admin Serverlessを使用するための設定を行います。

1. Web Configで [Epson Open Platform] タブ - [Epson Print Admin Serverless設定メニュー] を選択します。
[Epson Open Platform] タブ - [認証設定] - [認証方式] で選択した認証方式に従って設定項目が表示されます。
2. 設定する項目のリンクをクリックします。
3. 各項目を設定します。
4. [Epson Print Admin Serverless設定メニュー] をクリックします。
[Epson Print Admin Serverless設定メニュー] に戻ります。

ユーザー認証設定をする (Web Config)

Epson Print Admin Serverlessの認証方式と認証手段を設定します。

1. [Epson Print Admin Serverless設定メニュー] から [Epson Print Admin Serverless > 認証設定] をクリックします。
または [Epson Open Platform] タブ - [認証設定] を選択します。
2. 各項目を設定します。
3. [設定] をクリックします。

認証設定の設定項目

項目	説明
認証方式	<p>認証方式を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 本体認証 スキャナーの本体に登録されたユーザー設定を使って認証します。スキャナー本体にユーザーの登録が必要です。 • 外部認証 連携している外部認証のユーザー情報を使って認証します。利用する外部認証に応じて、LDAPサーバーの設定やMicrosoft Entra ID認証の設定などが必要です。 • 本体認証と外部認証 スキャナー本体に登録されているユーザー情報に加えて、連携している外部認証を使ってユーザー情報を照合して認証します。スキャナーにユーザー情報の登録と、利用する外部認証に応じてLDAPサーバーの設定やMicrosoft Entra ID認証の設定などが必要です。 • みなし認証 あらかじめスキャナーに登録した認証カードのフォーマット情報を使って簡易的に認証します。IDカードのフォーマット情報は1種類のみ指定できます。ユーザー設定の登録は必要ありません。

情報の登録とシステム設定

項目	説明
外部認証	<p>ユーザー認証時に使用する外部認証の種類を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> Microsoft Entra ID 認証 連携しているMicrosoft Entra ID に登録されているユーザー情報を使って認証します。Microsoft Entra ID認証を使用するには、Microsoft 365 との連携とMicrosoft Entra ID認証の検索属性も設定する必要があります。Microsoft Entra ID認証を使用するには、インターネットへの接続が必要です。 LDAPサーバー認証 連携しているLDAPサーバーのユーザー情報を使って認証します。LDAPサーバー設定が必要です。
認証手段	<p>認証手段を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 認証カード / ユーザーIDとパスワード ユーザー認証に認証カードを使用します。ユーザーIDとパスワードによる認証も使用できます。 [認証方式] で [みなし認証] を選択していると [認証カード] に固定されます。 認証カード / ID番号 ユーザー認証に認証カードを使用します。ID番号も使用できます。 ユーザーIDとパスワード ユーザー認証にユーザーIDとパスワードを使用します。 認証カードによる認証は使用できません。 ユーザーID ユーザー認証にユーザーIDのみを使用します。パスワードの設定は必要ありません。 ID番号 ユーザー認証にID番号のみを使用します。
テナント ID	<p>Microsoft Entra IDにアクセスするためのテナントIDを入力します。Microsoft Entra ID認証を使用する場合に入力が必要です。また、スキャナーの操作パネルの [個人のクラウドストレージ] や、Microsoft Entra IDのアドレス帳の [個人用連絡先] を選択して、その機能を利用するときにも入力が必要です。</p>
ユーザーによるカード登録を許可する	<p>許可すると、認証カードの登録をユーザーが行えます。以下の認証方法を選択していると設定できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> [認証方式] で [外部認証] を選択し、[外部認証] で [LDAPサーバー認証] を選択している場合 [認証方式] で [みなし認証] を選択している場合
ID番号の最小桁数	<p>ID番号の最小桁数を選択します。</p>
LDAPサーバー認証ユーザーのキャッシュ	<p>LDAPサーバー認証を利用している場合、ユーザー情報のキャッシュを使用するかしないか設定できます。 [外部認証] が [LDAPサーバー認証] のときに設定できます。 [しない] を選択すると、スキャナーの操作パネルの [個人のクラウドストレージ] やMicrosoft Entra IDのアドレス帳の [個人用連絡先] を選択して、その機能を利用するとき、Microsoftアカウントでサインインする画面が毎回表示されます。</p>
ユーザー情報をSMTP認証で使用する	<p>認証手段にユーザーIDとパスワードを利用している場合、ユーザー情報をSMTP認証に利用するかしないか設定できます。最後にログオンしたユーザーIDとパスワードがSMTP認証に使用されます。</p>
送信元アドレス	<p>スキャン to メール 機能やスキャン to マイメール 機能を使用するときの送信元のメールアドレスを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ユーザーのメールアドレス スキャナーにログオンしているユーザーのメールアドレスを使用します。ユーザーのメールアドレスが設定されていないときは、スキャナーに設定されている送信元メールアドレスを使用します。 製品のメールアドレス スキャナーに設定されている送信元メールアドレスを使用します。

項目	説明
LDAP認証ユーザーの機能制限	外部認証（Microsoft Entra ID 認証、LDAPサーバー認証）を利用している場合、ユーザーに利用を許可する機能を設定できます。

関連情報

➔ [「認証方式の概要」9ページ](#)

Microsoft Entraのテナント IDを確認する

Microsoft Entra管理センターにアクセスして、テナント IDを確認します。
以下の手順を参考に確認してください。

参考 Microsoft Entra管理センターのWebサイトの内容は変更されることがあります。

1. 組織アカウントを使ってMicrosoft Entra管理センター (<https://entra.microsoft.com>) にアクセスします。
「クラウド アプリケーション管理者」のロール権限を持っているアカウントでアクセスしてください。
2. [ID] - [概要] - [プロパティ] を選択します。
3. [テナント ID] セクションまで下にスクロールして、表示されているテナント IDを確認します。

ユーザー情報の登録 (Web Config)

ユーザー認証に使用するユーザー情報を登録します。

[認証方式] で [外部認証] や [みなし認証] を選択した場合、登録不要です。その場合、メニュー項目から [ユーザー設定] が非表示になります。

[認証方式] で [本体認証と外部認証] を選択した場合は、LDAPサーバーの設定もしてください。

ユーザー情報を個別に登録する

ユーザー情報を1件ずつ入力します。

1. [Epson Print Admin Serverless設定メニュー] から [Epson Print Admin Serverless > ユーザー設定] を選択します。
または [Epson Open Platform] タブ - [ユーザー設定] を選択します。
2. [登録] をクリックします。
3. 各項目を設定します。
4. [適用] をクリックします。
5. [閉じる] をクリックします。

情報の登録とシステム設定

ユーザー情報の設定項目

項目	説明
ユーザーID	認証に使用するユーザーIDを、Unicode (UTF-8) で表せる1～83バイトで設定します。 大文字、小文字を区別しないので、どちらでもログインできます。
ユーザー表示名	スキャナーのパネルに表示されるユーザーの表示名を、Unicode (UTF-16) で表せる32文字以内で設定します。 スキャナーのパネルでは、表示領域を超える文字は表示できません。 空欄にもできます。
パスワード	認証に使用するパスワードを、ASCII文字を使用して0～32文字で入力します。大文字、小文字を区別します。 [認証手段] を [ユーザーID] にした場合は空欄にします。
認証カードID	認証カードのIDを、ASCII文字を使用して116文字以内で入力します。空欄にもできます。 [認証設定] で [ユーザーによるカード登録を許可する] を許可すると、ユーザーが登録した結果が反映されます。
ID番号	[Epson Open Platform] タブ - [認証設定] - [認証手段] で、[認証カード / ID番号] または [ID番号] が選択されている場合に表示されます。 [Epson Open Platform] タブ - [認証設定] - [ID番号の最小桁数] で設定した桁数以上8桁以下の数字を入力します。
自動生成	[Epson Open Platform] タブ - [認証設定] - [認証手段] で、[認証カード / ID番号] または [ID番号] が選択されている場合に表示されます。 クリックすると [ID番号の最小桁数] で選択した桁数のID番号が自動生成されます。
部門	ユーザーを識別する部門名などを、Unicode (UTF-16) で表せる40文字以内で入力します。 空欄にもできます。
メールアドレス	ユーザーのメールアドレスを、ASCII文字を使用して200文字以内で設定します。[スキャン to マイメール 機能] の宛先に使用します。 空欄にもできます。
スキャン to マイフォルダー機能	[スキャン to マイフォルダー機能] - [設定方法] で [個別に設定する] を選択したとき、保存先を個別に設定します。設定項目については、以下をご覧ください。 「スキャン to マイフォルダー機能 設定項目 (Web Config)」 52ページ
機能制限	ユーザーごとに機能制限を設定できます。許可する機能にチェックを付けます。
お気に入り	スキャナーに登録されているお気に入りから、選択したユーザーだけが使用できる項目を5件まで設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> ユーザーに割り当てられたお気に入りは、割り当てられたユーザーだけが使用できます。どのユーザーにも割り当てられていないお気に入りは、全てのユーザーが使用できます。 [機能制限] で制限した機能を使ったお気に入りは、利用できません。

ユーザーごとのお気に入りを設定する

スキャナーに登録されているお気に入りから、選択したユーザーだけが利用できるお気に入りを5件まで設定できます。

参考 Epson Device Adminの場合は、お気に入りの登録の番号を入力することで設定できます。ただし登録の番号が変更された場合は、番号だけを引継いで内容は更新されません。

1. お気に入りを設定したいユーザーを開きます。

2. [お気に入り] - [選択] をクリックします。

スキャナーに登録されているお気に入りの一覧が表示されます。

3. 登録したいお気に入りのチェックボックスにチェックを入れます。

参考 [編集] をクリックすると、スキャナーのお気に入り登録画面に移動します。

4. [選択] をクリックします。

ユーザー設定に戻ります。選択したお気に入りが表示されていることを確認してください。

参考

- 本体認証のユーザーが登録しているお気に入りはそのユーザーだけが使用できます。
- 本体認証のユーザーが登録していないお気に入りは全てのユーザーが使用できます。ただし管理者が機能制限している機能は使用できません。

ユーザー情報を一括で登録するためのCSVファイルを作成する

ユーザー情報を取り込むためのCSVファイルを作成します。

CSVファイルは個別に登録したユーザー情報を元にするとファイル作成の手間が省けます。あらかじめ1件以上のユーザー情報を登録してください。

1. [Epson Print Admin Serverless設定メニュー] から [Epson Print Admin Serverless - ユーザー設定] を選択します。

または [Epson Open Platform] タブ - [ユーザー設定] を選択します。

2. [エクスポート] をクリックします。

3. [ファイルのフォーマット] でエクスポートするファイル形式を選択します。

以下を参照して選択してください。

項目	説明
CSV UTF-16 (タブ区切り)	Microsoft Excelでファイルを編集する場合に選択してください。 各列の値は"[]"で囲まれて出力されます。"[]"の間に値を入力してください。 ファイルを更新するときは上書きを奨励します。名前を付けて保存する場合は ファイルの種類を"Unicode テキスト(*.txt)"を選択してください。
CSV UTF-8 (カンマ区切り)	テキストエディターでの編集やマクロでの自動編集など、Microsoft Excelを使わずに編集する場合に選択してください。
CSV UTF-8 (セミコロン区切り)	

4. [エクスポート] をクリックしてファイルを保存します。
5. 保存されたCSVファイルを表計算ソフト（Microsoft Excelなど）やテキストエディターなどで編集し、保存します。

！重要 ファイル編集するとき、エンコードやヘッダーの情報を変更しないでください。

CSVファイルの設定項目

参考 他機種のCSVファイルは使用できません。

項目	設定値と説明
UserID	認証に使用するユーザーIDを、Unicodeで表せる1～83バイトで設定します。
UserName	スキャナーのパネルに表示されるユーザーの表示名を、Unicodeで表せる32文字以内で設定します。空欄にもできます。
Password	認証に使用するパスワードを、ASCII文字を使用して32文字以内で入力します。インポートするとき [EncPassword] より優先してパスワードとしてセットされます。 [認証手段] を [ユーザーID] にした場合は空欄にします。 エクスポートするときには常に空欄になります。
AuthenticationCardID	認証カードの読み取り結果を設定します。[認証設定] で [ユーザーによるカード登録を許可する] を許可すると、ユーザーが登録した結果が反映されます。 ASCII文字を使用して116文字で入力します。空欄にもできます。
IDNumber	[認証設定] - [認証手段] で、[認証カード / ID番号] または [ID番号] が選択されている場合に表示されます。 [認証設定] - [ID番号の最小桁数] で設定した桁数以上8桁以下の数字を入力します。 ID番号の重複はできません。重複している場合、ファイルをインポートした際にエラー通知されます。空欄の場合は自動採番されます。
Department	ユーザーを識別する部門名などを任意で入力します。 Unicodeで表せる40文字以内で入力します。空欄にもできます。
MailAddress	ユーザーのメールアドレスを設定します。[スキャン to マイメール 機能] の宛先に使用します。 A-Z、a-z、0-9、!# %& *+./=?^_`{ }~@が使用できます。200文字以内で入力します。 先頭文字に"."（カンマ）は使用できません。空欄にもできます。
FolderProtocol	スキャン to マイフォルダー機能の種別を設定します。 ネットワークフォルダー（SMB）：0、FTP：1
FolderPath	スキャン to マイフォルダー機能の保存先を設定します。
FolderUserName	スキャン to マイフォルダー機能のユーザー名を設定します。
FolderPassword	スキャン to マイフォルダー機能の保存先フォルダーの認証に使用するパスワードを、ASCII文字を使用して32文字以内で入力します。 インポートするとき [EncPassword] より優先してパスワードとしてセットされます。エクスポートするときには常に空欄になります。

情報の登録とシステム設定

項目	設定値と説明
FtpPassive	スキャン to マイフォルダー機能の [種別] で [FTP] を選択した場合、FTPサーバーへの接続モードを設定します。 アクティブモード：0、パッシブモード：1
FtpPort	スキャン to マイフォルダー機能の [種別] で [FTP] を選択した場合、送信するポート番号を0~65535で入力します。
ScanToMemory	スキャン to USBドライブ 機能の機能制限を設定します。 許可しない：0、許可：1
ScanToMail	スキャン to メール 機能の機能制限を設定します。 [スキャン to メール 機能] を有効にしているときのみ、[スキャン to マイメール 機能] を設定できます。 許可しない：0、許可：1
ScanToFolder	スキャン to ネットワークフォルダー 機能の機能制限を設定します。 [スキャン to ネットワークフォルダー 機能] を有効にしているときのみ、[スキャン to マイフォルダー 機能] を設定できます。 許可しない：0、許可：1
ScanToCloud	スキャン to クラウド 機能の機能制限を設定します。 許可しない：0、許可：1
ScanToComputer	スキャン to コンピューターの機能制限を設定します。 許可しない：0、許可：1
PresetIndex	ユーザーに関連付けるお気に入りを設定します。お気に入りの登録番号をカンマ区切りで5件まで設定できます。
EncPassword	ユーザー設定をエクスポートするとき [Password] に設定してある値が暗号化され、BASE64でエンコードされた値が出力されます。 インポートするときに [Password] に新たなパスワードを入力すると、この値が無視されます。 [Password] に何も入力しないと、この値が使われてエクスポート前のパスワードのままになります。
EncFolderPassword	エクスポートするとき [FolderPassword] に設定してある値が暗号化され、BASE64でエンコードされた値が出力されます。 インポートするときに [FolderPassword] に新たなパスワードを入力すると、この値が無視されます。 [FolderPassword] に何も入力しないと、この値が使われてエクスポート前のパスワードのままになります。

関連情報

➔ [「CSVファイル/ENEファイルからインポートする」71ページ](#)

CSVファイルを使ってユーザー情報を一括で登録する

ユーザーの登録情報をCSV ファイルに記述して一括で登録します。

1. [Epson Print Admin Serverless設定メニュー] から [Epson Print Admin Serverless > ユーザー設定] を選択します。
または [Epson Open Platform] タブ - [ユーザー設定] を選択します。
2. [インポート] をクリックします。
3. [ファイルの選択] をクリックしてインポートするファイルを選択して、[開く] をクリックします。
4. [インポート] をクリックします。
5. 表示された情報を確認し、[OK] をクリックします。

関連情報

- ➔ [「ユーザー情報を一括で登録するためのCSVファイルを作成する」 36ページ](#)

クラウドディレクトリーサービスと連携するための設定 (Web Config)

Microsoft 365と連携するための設定 (Web Config)

Microsoft 365との連携について

スキャナー本体からMicrosoftの組織アカウントでサインインして、スキャナー本体をMicrosoft 365と連携させます。Microsoft 365を連携させるには、インターネットへの接続が必要です。

スキャナー本体をMicrosoft 365と連携させると、以下の機能が使用できます。

- クラウドストレージへのスキャンデータ保存 (組織の共有フォルダー)
スキャンした結果を連携しているクラウドストレージ (OneDrive for Business、SharePoint Online、Microsoft Teams) にある組織の共有フォルダーに保存できます。
- Microsoft Entra IDとのアドレス帳連携 (組織の連絡先)
スキャン to メール 機能を使用する際、連携しているMicrosoft Entra IDのアドレス帳の「組織の連絡先」から宛先を検索して、メールアドレスを取得できます。
「組織の連絡先」を使用するには、「組織の連絡先」の検索属性も設定する必要があります。
- Microsoft Entra IDによるユーザー認証
既存のMicrosoft Entra IDのアカウントを連携させてユーザーを認証できます。新たにユーザーアカウントを用意する必要はありません。
Microsoft Entra ID認証を使用するには、認証方法と外部認証を設定し、Microsoft Entra ID認証の検索属性も設定する必要があります。

関連情報

- ➔ [「スキャナー本体からMicrosoftアカウントでサインインする \(Web Config\) 」 40ページ](#)

スキャナー本体からMicrosoftアカウントでサインインする (Web Config)

スキャナー本体をMicrosoft 365と連携させるには、Web Configを使ってスキャナー本体からMicrosoftの組織アカウントでサインインします。

1. [Epson Print Admin Serverless設定メニュー] から [Microsoft 365 > サインイン] を選択します。
または [ネットワーク] タブ - [Microsoft 365] - [サインイン] を選択します。
2. [Microsoft アカウントでサインイン] をクリックします。
3. 認証ページのURLが表示されたら、認証コードをコピーしてから、URLをクリックします。
別画面でサインイン画面が表示されます。
4. 画面の指示に従い、サインインします。
初回サインイン時には、Entra IDへのエンタープライズアプリケーション登録のため、サインインユーザーによる承諾が必要です。この操作は最低限「クラウド アプリケーション管理者」ロール権限が付与されたユーザーで行ってください。
5. Web Config画面で、[現在の状態] が [サインイン] と表示されればサインインしています。

Microsoft Entra IDのアドレス帳の検索属性の設定 (Web Config)

Microsoft Entra IDのアドレス帳を使うと、「組織の連絡先」と「個人用連絡先に登録されているユーザーのメールアドレスなどを検索できます。

「組織の連絡先」の検索属性を設定する (Web Config)

Microsoft Entra IDのアドレス帳の「組織の連絡先」の検索属性を設定すると、連携しているMicrosoft Entra IDのアドレス帳の「組織の連絡先」に登録されているユーザーのメールアドレスなどを検索できます。

1. [ネットワーク] タブ- [Microsoft 365 > Microsoft Entra ID検索設定 (アドレス帳)] を選択します。
2. [Microsoftから検索] から [有効] を選択します。
3. [組織の連絡先] の各項目を設定します。
各項目の詳細は関連情報をご覧ください。
4. [設定] をクリックします。

関連情報

➔ [「組織の連絡先」の検索設定項目 \(Web Config\) 」 41ページ](#)

「組織の連絡先」の検索設定項目 (Web Config)

項目	設定値と説明
検索件数上限数 (5-500)	検索される数の上限を5~500以内で設定します。検索によって取得した、上限値までの件数を一時的に保存して表示します。上限値を超えると警告メッセージが表示されますが、検索は続行できます。
ユーザー名属性	ユーザー名として検索する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせて、1~255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA~Z、a~zにしてください。 設定例：userPrincipalName
ユーザー表示名属性	ユーザー表示名として検索する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせて、0~255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA~Z、a~zにしてください。 設定例：displayName
メールアドレス属性	メールアドレスとして検索する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせて、1~255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA~Z、a~zにしてください。 設定例：mail

「個人用連絡先」の検索属性を設定する (Web Config)

Microsoft Entra IDのアドレス帳の「個人用連絡先」の検索属性を設定すると、連携しているMicrosoft Entra IDのアドレス帳の「個人用連絡先」に登録されているユーザーのメールアドレスなどを検索できます。「個人用連絡先」には、各ユーザーがMicrosoft Outlookなどで登録した個人用の連絡先が登録されています。

1. [ネットワーク] タブ - [Microsoft 365 > Microsoft Entra ID検索設定 (アドレス帳)] を選択します。
2. [Microsoftから検索] から [有効] を選択します。
3. [個人用連絡先] の各項目を設定します。
各項目の詳細は関連情報をご覧ください。
4. [設定] をクリックします。

関連情報

➔ [「個人用連絡先」の検索設定項目 \(Web Config\) 」 41ページ](#)

「個人用連絡先」の検索設定項目 (Web Config)

項目	設定値と説明
検索件数上限数 (5-500)	検索される数の上限を5~500以内で設定します。検索によって取得した、上限値までの件数を一時的に保存して表示します。上限値を超えると警告メッセージが表示されますが、検索は続行できます。

項目	設定値と説明
ユーザー名属性	ユーザー名として検索する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせ、1～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、a～zにしてください。 設定例：userPrincipalName
ユーザー表示名属性	ユーザー表示名として検索する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせ、0～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、a～zにしてください。 設定例：displayName
メールアドレス属性	メールアドレスとして検索する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせ、1～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、a～zにしてください。 設定例：mail

Microsoft Entra ID認証の検索属性を設定する (Web Config)

連携しているMicrosoft Entra IDからEpson Print Admin Serverlessに登録するユーザーの検索属性を設定します。

1. [Epson Print Admin Serverless設定メニュー] から [Microsoft 365 > Microsoft Entra ID検索設定 (Epson Print Admin Serverless)] を選択します。
または [ネットワーク] タブ - [Microsoft 365] - [Microsoft Entra ID検索設定 (Epson Print Admin Serverless)] を選択します。
2. 各項目を設定します。
各項目の詳細は関連情報をご覧ください。
3. [設定] をクリックします。

関連情報

➔ [「Microsoft Entra ID認証の検索設定項目 \(Web Config\)」 42ページ](#)

Microsoft Entra ID認証の検索設定項目 (Web Config)

項目	設定値と説明
ユーザーID属性	ユーザーIDとして検索する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせ、1～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、a～zにしてください。 設定例：employeeid
ユーザー表示名属性	ユーザー表示名として検索する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせ、0～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、a～zにしてください。 設定例：displayName

項目	設定値と説明
認証カードID属性	認証カードIDとして検索する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせ、0～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、a～zにしてください。 設定例：employeeid
ID番号属性	ID番号として検索する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせ、0～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、a～zにしてください。 設定例：employeeid
部門属性	部門名として検索する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせ、0～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、a～zにしてください。 設定例：department
メールアドレス属性	メールアドレスとして検索する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせ、0～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、a～zにしてください。 設定例：mail

LDAPサーバーとの連携（Web Config）

Web Configを使ってスキャナー本体のLDAPサーバーの設定を行います。

【認証方式】で【外部認証】や【本体認証と外部認証】を選択し、【外部認証】で【LDAPサーバー認証】を選択した場合に設定してください。

設定項目の詳細は、Epson Device Adminの同じ項目をご覧ください。

関連情報

- ➔ [「LDAPサーバー設定項目」 67ページ](#)
- ➔ [「Kerberos 設定項目」 70ページ](#)
- ➔ [「LDAPサーバー認証の検索設定項目」 69ページ](#)

利用できるサービス

対応しているディレクトリーサービスは以下の通りです。

サービス名	バージョン
Active Directory	Windows Server 2008, Windows Server 2008 R2, Windows Server 2012, Windows Server 2012 R2, Windows Server 2016, Windows Server 2019
OpenLDAP	Ver.2.3, Ver.2.4

LDAPサーバーを設定する (Web Config)

1. [Epson Print Admin Serverless設定メニュー] から [LDAPサーバー > 基本 (プライマリーサーバー)] を選択します。
または [ネットワーク] タブ - [LDAPサーバー] - [基本 (プライマリーサーバー)] を選択します。
2. 各項目を設定します。
各項目の詳細は関連情報をご覧ください。
3. [設定] をクリックします。
4. [認証方式] で [Kerberos認証] を選択する場合は、[ネットワーク] タブ - [Kerberos設定] から Kerberos設定をして、[設定] をクリックします。
Kerberos設定は10個まで登録できます。選択していない場合は、次の手順に進みます。
5. 必要に応じて [基本 (セカンダリーサーバー)] からLDAPのセカンダリーサーバーを設定し、[設定] をクリックします。
設定項目はプライマリーサーバーと同じです。
6. [設定] をクリックします。

関連情報

- ➔ [\[LDAPサーバー設定項目\] 67ページ](#)
- ➔ [\[Kerberos 設定項目\] 70ページ](#)

LDAPサーバーとの接続を確認する

[LDAPサーバー] - [検索設定] で設定した値でLDAPサーバーとの接続テストを行います。

1. [Epson Print Admin Serverless設定メニュー] - [LDAPサーバー > 接続確認 (プライマリーサーバー)] をクリックします。
または [ネットワーク] タブ - [LDAPサーバー] - [接続確認 (プライマリーサーバー)] を選択します。
2. [確認開始] をクリックします。
接続テストの結果が表示されます。
3. [OK] をクリックします。

検索属性を設定する

LDAPサーバーからEpson Print Admin Serverlessに登録するユーザーの検索属性を設定します。

1. [Epson Print Admin Serverless設定メニュー] から [LDAPサーバー > 検索設定 (Epson Print Admin Serverless)] を選択します。
または [ネットワーク] タブ - [LDAPサーバー] - [検索設定 (Epson Print Admin Serverless)] を選択します。
2. 各項目を設定します。
3. [設定] をクリックします。

関連情報

➔ [「LDAPサーバー認証の検索設定項目」 69ページ](#)

オプションの設定 (Web Config)

必要に応じて設定してください。

利用者制限の設定

ユーザーに使用を許可する機能を設定します。

認証ユーザーの利用許可を設定する (Web Config)

Epson Print Admin Serverlessの本体認証を使用している場合、Web Configのユーザー設定でユーザーごとに利用者制限を設定できます。設定の詳細は関連情報をご覧ください。

1. [Epson Print Admin Serverless設定メニュー] から [利用者制限設定 - ユーザー設定] を選択します。
または [本体セキュリティ] タブ - [利用者制限設定] - [ユーザー設定] を選択します。
2. [1] の行にある [AuthAdmin] の [編集] をクリックします。



[AuthAdmin] では、Epson Print Admin Serverlessの全ユーザー共通の設定を管理します。[AuthAdmin] は削除しないでください。削除すると、Epson Print Admin Serverlessが動作しません。

3. [以下の機能の使用を許可する。] で許可する機能にチェックを付けます。



[スキャン] のチェックを外すと、全てのユーザーの全スキャン機能を制限できます。

4. [適用] をクリックします。

関連情報

➔ [「ユーザー情報の設定項目」 35ページ](#)

ドライバーの利用許可を設定する (Web Config)


コンピューターからスキャンできるように利用許可を設定します。

ユーザーを制限しないときは、[Epson Print Admin Serverless設定メニュー] から [利用者制限設定 - 基本] を選択して、[認証情報の無い印刷/スキャンを許可する] にチェックを付けます。


ユーザーを制限するときは、以下の手順でEpson Scan 2から利用するためのアカウントを設定します。

1. [Epson Print Admin Serverless設定メニュー] から [利用者制限設定 > ユーザー設定] を選択します。
または [本体セキュリティ] タブ - [利用者制限設定] - [ユーザー設定] を選択します。

2. [1] を除く登録されていない行で [登録] をクリックします。

 [1] は認証システムなどのアプリケーションが使用します。

3. 任意の [ユーザー名] と [パスワード] を入力します。

 ここで設定したユーザー名、パスワードがドライバーの認証に使用されます。

4. [以下の機能の使用を許可する。] で [スキャン] にチェックを付けます。

5. [適用] をクリックします。

6. Epson Scan 2を使用するコンピューターに、手順3で設定したユーザー名とパスワードを登録します。

関連情報

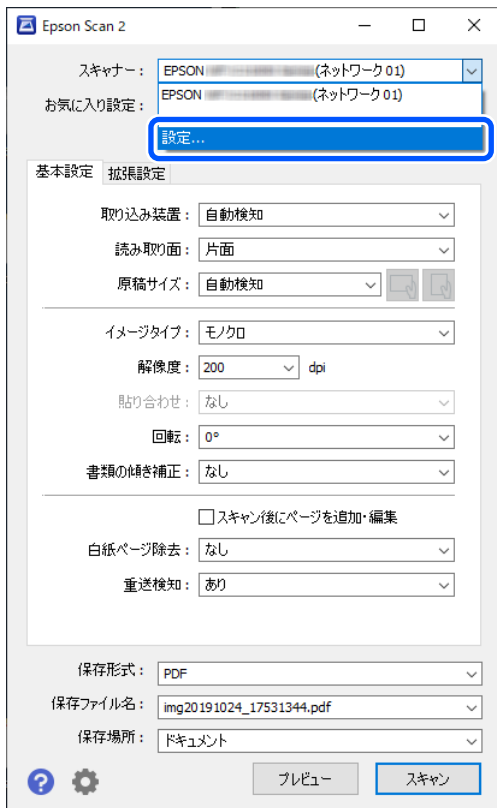
➔ [「コンピューターからスキャンする」46ページ](#)

コンピューターからスキャンする

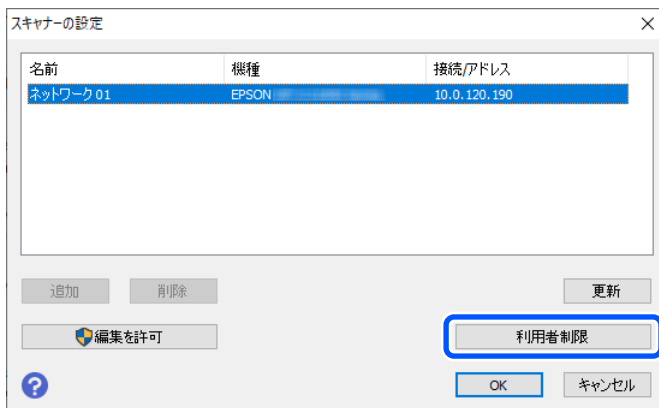
コンピューターからスキャンを行う場合はEpson Scan 2に利用者制限の情報を設定してください。

1. Epson Scan 2を起動します。

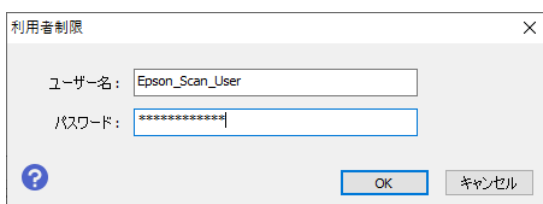
2. [スキャナー] から [設定] を選択します。



3. 利用するスキャナーを選択して [利用者制限] をクリックします。



4. [ユーザー名] と [パスワード] を設定し、[OK] をクリックします。



5. [OK] をクリックします。

登録ユーザーのWeb Configログオンを許可する (Web Config)

1. [Epson Print Admin Serverless設定メニュー] から [利用者制限設定 > 基本] を選択します。
または [本体セキュリティ] タブ - [利用者制限設定] - [基本] を選択します。
2. [登録ユーザーのWeb Configログオンを許可する] にチェックを付けます。
3. [設定] をクリックします。

認証なしでスキャン機能の使用を許可する (Web Config)

ユーザーがログオフしているときもスキャン機能の使用を許可します。ログオン画面に機能のアイコンが表示されません。

1. [Epson Print Admin Serverless設定メニュー] から [利用者制限設定 > 基本] を選択します。
または [本体セキュリティ] タブ - [利用者制限設定] - [基本] を選択します。
2. ログオフ時にパネルからの使用を許可する機能で、許可する機能にチェックを付けます。
3. [設定] をクリックします。

関連情報

➔ [「認証なしでスキャン機能の使用を許可する \(設定テンプレート\)」 76ページ](#)

認証装置を設定する (Web Config)

IDカードから取得する認証情報の読み取り形式を設定します。

1. [Epson Print Admin Serverless設定メニュー] から [認証装置] を選択します。
または [デバイス管理] タブ - [認証装置] を選択します。
2. 認証装置、IDカードの読み取り情報を設定します。
3. [次へ] をクリックします。
確認画面が表示されます。
4. [設定] をクリックします。

関連情報

➔ [「設定できる認証情報の読み取り方法」 24ページ](#)

認証装置設定項目

認証カードの読み取り設定を行いたい場合に設定します。
特別な設定を行わないときは、各項目は購入時の設定のまま使用します。

情報の登録とシステム設定

項目		説明
Vendor ID		使用を限定する認証装置のVendor IDを4桁の英数字を使って0000～FFFFで設定します。 限定しないときは0000を設定してください。
Product ID		使用を限定する認証装置のProduct IDを4桁の英数字を使って0000～FFFFで設定します。 限定しないときは0000を設定してください。
動作パラメーター		認証装置の動作パラメーターを0～8192文字以内で設定します。 A～Z、a～z、0～9、+、/、=、半角スペース、改行が使用できません。 認証装置に特別な制御が必要なときのみ設定してください。設定しないときは空欄にします。
Epson Print Admin Serverless	認証装置	認証装置の変換フォーマットを選択します。 特別な設定をしないときは、[カスタム (フォーマット1)] を選択します。
	認証カードID保存フォーマット	IDカードにある認証情報の変換フォーマットを選択します。 特別な設定をしないときは、[フォーマット 1 (デフォルト)] を選択します。
	認証カードIDの読み取り設定をする	読み取り位置の指定を有効にします。 特別な設定をしないときは、チェックを外します。
	開始文字位置	ID情報の読み取り開始文字の位置を指定します。1～4096まで指定できます。 [認証カードIDの読み取り設定をする] を有効にしたときのみ設定します。
	文字数	ID情報の読み取り開始位置から何文字分まで読み取るかを指定します。 1～4096まで指定できます。 [認証カードIDの読み取り設定をする] を有効にしたときのみ設定します。

認証装置、認証カード保存フォーマット設定項目

認証カードの読み取り設定を行いたい場合に設定します。

形式	説明
フォーマット 1 (デフォルト)	バイナリー値を16進数として出力
フォーマット2	バイナリー値の上位下位バイトを入れ替えた値を16進数として出力
フォーマット3	ビット換算で上位下位ビットを入れ替えた値を16進数として出力
フォーマット4	バイナリー値を10進数として出力
フォーマット5	バイナリー値の上位下位バイトを入れ替えた値を10進数として出力
フォーマット6	ビット換算で上位下位ビットを入れ替えた値を10進数として出力

形式	説明
フォーマット7	バイナリー値を16進数のASCII文字列として出力
フォーマット8	バイナリー値の上位下位バイトを入れ替えた値を16進数のASCII文字列として出力
フォーマット9	ビット換算で上位下位ビットを入れ替えた値を16進数のASCII文字列として出力
フォーマット10	バイナリー値を10進数のASCII文字列として出力
フォーマット11	バイナリー値の上位下位バイトを入れ替えた値を10進数のASCII文字列として出力
フォーマット12	ビット換算で上位下位ビットを入れ替えた値を10進数のASCII文字列として出力
フォーマット13	バイナリー値をASCII文字列として出力

メールサーバーの設定 (Web Config)

メールを送信する機能を使用する場合に設定してください。

- スキャン to マイメール 機能
スキャナーにログオンしたユーザーのメールアドレスへスキャン結果を送信する機能です。
- スキャン to メール 機能
指定したメールアドレスへスキャン結果を送信する機能です。
- メール通知
エラーなどのイベントが発生したときにメールを受け取る機能です。

メールサーバーは、[Epson Print Admin Serverless設定メニュー] - [メールサーバー > 基本] で設定します。設定後、[メールサーバー > 接続確認] でメールサーバーとの接続確認ができます。

参考 設定項目は、[ネットワーク] タブ - [メールサーバー] と共通です。

メールサーバーの設定項目について、詳しくはスキャナーの『ユーザーズガイド』 - 『メールサーバーを登録する』をご覧ください。

関連情報

- ➔ [「ユーザー情報の登録 \(Web Config\)」 34ページ](#)
- ➔ [「メール通知の概要」 89ページ](#)

スキャン to マイメール 機能のOAuth 2.0認証

Microsoft Exchange Onlineをお使いで、メールサーバーの[認証方式]に[OAuth2]を設定し、Epson Print Admin Serverlessの認証設定で[送信元アドレス]に[ユーザーのメールアドレス]を選択しているとき、メールサーバーのOAuth 2.0認証設定に加えて、各ユーザーが自分のメールアドレスでサインインする必要があります。最初に、スキャナー管理者のメールアドレスを使用し、管理者がサインインして、[組織の代理として同意する]をチェックしてアクセス許可範囲を設定してください。

Epson Print Admin Serverlessの設定後に、以下の手順を実施します。

1. スキャナーの操作パネルのEpson Print Admin Serverlessの画面で、スキャナーの管理者権限を持つユーザーでログオンします。

2. [スキャン to マイメール 機能] を選択します。

サインインの画面が表示されます。

3. メールアドレスを入力して、[次へ] を選択します。

サインインするためには、アカウントに最低限 [クラウド アプリケーション管理者] ロールが割り当てられている必要があります。

4. パスワードを入力して、[サインイン] をクリックします。

5. アクセス許可画面で [組織の代理として同意する] にチェックを入れて、[承諾] を選択します。

サインインに成功すると、Epson Print Admin Serverlessの画面に認証成功のメッセージが表示されます。確認したら画面を閉じてください。

管理者のサインインを完了すると、その後からはEpson Print Admin Serverlessに登録されている各ユーザーが、自分でサインインをすると、メール送信機能が使えるようになります。

各ユーザーが初めて [スキャン to マイメール 機能] のメニューを選択したときに、サインインの画面が表示されるのでサインインをしてください。

サインインするときは、会社や組織のMicrosoftアカウント（メールアドレスとパスワード）を使ってください。

スキャン to マイフォルダー機能を設定する (Web Config)

スキャン to マイフォルダー機能で使用するEpson Print Admin Serverless機能の設定をします。スキャン to マイフォルダー機能は、以下の保存先を設定できます。

保存先	対象	認証方式 (外部認証)	保存先パスの設定
個別フォルダー	ユーザーごと (本体認証ユーザー)	本体認証、本体認証と外部認証 (Microsoft Entra ID 認証、LDAPサーバー認証)	アドレス帳
個別フォルダー	ユーザーごと (LDAP認証ユーザー)	外部認証 (LDAPサーバー認証)、本体認証と外部認証 (LDAPサーバー認証)	LDAP属性
共有フォルダー*	全ユーザー	本体認証、外部認証 (Microsoft Entra ID 認証、LDAPサーバー認証)、本体認証と外部認証 (Microsoft Entra ID 認証、LDAPサーバー認証)	本体 (スキャン to マイフォルダー機能設定)

* : 指定したフォルダーパスやURLの直下にユーザーID名のフォルダーが自動作成されます。

1. [Epson Print Admin Serverless設定メニュー] から [Epson Print Admin Serverless-スキャン to ネットワークフォルダー 機能] を選択します。

または [Epson Open Platform] タブ - [Epson Print Admin Serverless] - [スキャン to ネットワークフォルダー 機能] を選択します。

2. 各項目を設定します。

3. [設定] をクリックします。

スキャン to マイフォルダー機能 設定項目 (Web Config)

項目		説明
保存先設定	設定方法	<ul style="list-style-type: none"> • [一括で設定する] [保存先] に指定したフォルダーパスやURLの直下にユーザーID名のフォルダーが自動作成されてスキャン結果が保存されます。 • [個別に設定する] : ユーザーごとにスキャン結果の保存先を設定できます。 本体認証ユーザーはユーザー設定で個別に設定できます。 LDAP認証ユーザーはLDAPサーバーの検索属性で保存先を設定できます。
	種別	送信プロトコルを選択します。 スキャンの出力先がネットワークフォルダーの場合、[ネットワークフォルダー (SMB)] を選択します。 FTP サーバーの場合は [FTP] を選択します。
	保存先	[種別] で [ネットワークフォルダー (SMB)] を選択した場合、スキャンデータの出力先のパスを設定します。 [種別] で [FTP] を選択した場合、スキャンデータの出力先のURLを設定します。 Unicode (UTF-8) で表せる160文字以内で入力します。
	接続モード	[種別] で [FTP] を選択した場合に設定します。 FTP サーバーへの接続モードを選択します。
	ポート番号	[種別] で [FTP] を選択した場合に設定します。 FTP サーバーにスキャンデータを送信するポートの番号を0~65535の間で入力します。
認証設定	設定方法	[保存先設定] の [設定方法] で [個別に設定する] を選択した場合に表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • [一括で設定する] 認証方法に関わらず [ユーザー名] 、 [パスワード] に設定した設定が認証に使用されます。 • [個別に設定する] : 本体認証ユーザーはユーザー設定で個別に設定できます。 LDAP認証ユーザーは [ユーザー名] 、 [パスワード] に設定した設定が認証に使用されます。
	ユーザー名	スキャン出力先フォルダーにアクセスするユーザー名を入力します。 Unicode (UTF-8) で表せる30文字以内で入力します。
	パスワード	スキャン出力先フォルダーにアクセスするためのパスワードを入力します。 Unicode (UTF-8) で表せる20文字以内で入力します。

スキャン to ネットワークフォルダー 機能の宛先編集を禁止する (Web Config)

スキャン to ネットワークフォルダー 機能のデフォルトの送信先は、ユーザーが変更できないよう設定できます。設定は [Epson Print Admin Serverless設定メニュー] の [Epson Print Admin Serverless > スキャン to ネットワークフォルダー 機能] または [Epson Open Platform] タブ - [Epson Print Admin Serverless] - [スキャン to ネットワークフォルダー 機能] からできます。

項目	説明
宛先の直接入力を禁止する	チェックを付けると、ユーザーがデフォルトの宛先を変更できないようにします。

ホーム画面を編集する (Web Config)

操作パネルのホーム画面に表示するアイコンのレイアウトを編集し、必要なアイコンだけを表示できます。

1. [Epson Print Admin Serverless設定メニュー] から [Epson Print Admin Serverless > ホーム画面編集] を選択します。
または [Epson Open Platform] タブ - [Epson Print Admin Serverless] - [ホーム画面編集] を選択します。
2. [1ページあたりの最大表示数] から操作パネルに表示するアイコンのレイアウトを選択します。選択したレイアウトに従ったイメージが表の上に表示されます。

！重要 以下の場合は、特定の機能のアイコンがホーム画面に表示されません。

- 利用者制限で使用できない機能を選択した場合
- ログオンしたユーザーのメールアドレスが登録されていない場合 (スキャン to マイメール 機能)
- 保存先のフォルダーが設定されていない場合 (スキャン to マイフォルダー機能)

3. [ページ数] から画面数を選択します。
4. アイコンを表示させたい位置にある番号と同じ番号の行で、表示する機能を選択します。
5. [設定] をクリックします。

関連情報

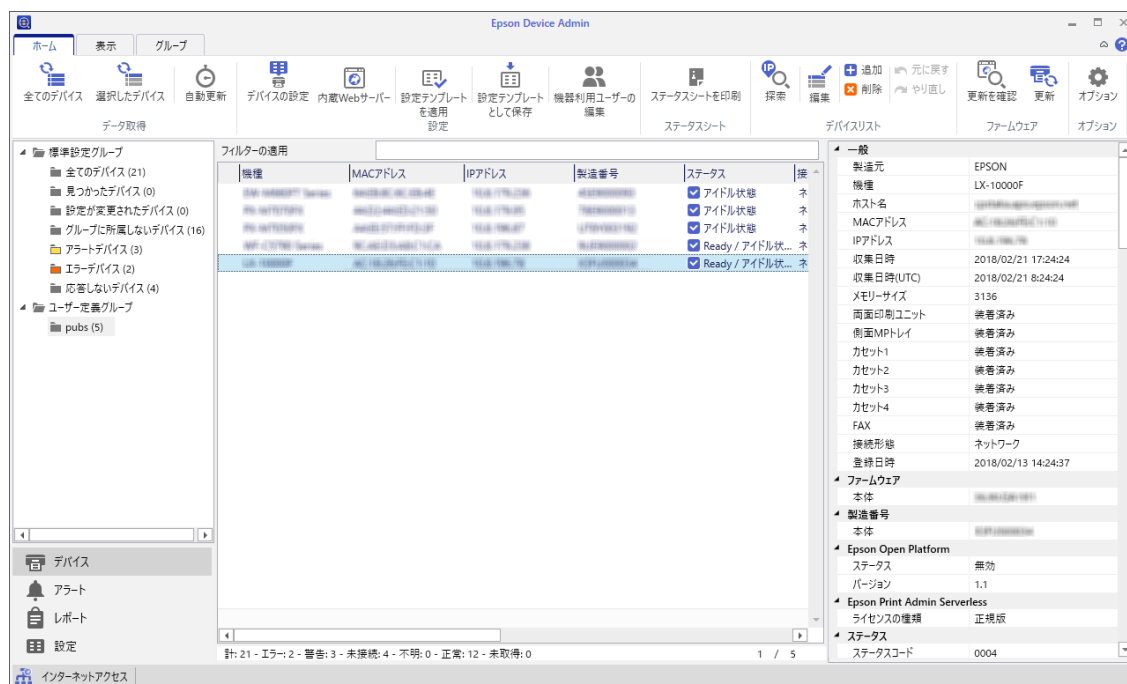
➔ [「ホーム画面を編集する \(設定テンプレート\)」 77ページ](#)

Epson Device Admin (設定テンプレート) を使った一括設定

Epson Device Adminを使用すると、複数のスキャナーへ一度にEpson Print Admin Serverlessを設定できます。詳細はEpson Device Adminのマニュアルやヘルプをご覧ください。

情報の登録とシステム設定

認証方式によってEpson Print Admin Serverlessを使用するために必要な設定を行ってください。詳細は関連情報をご覧ください。



関連情報

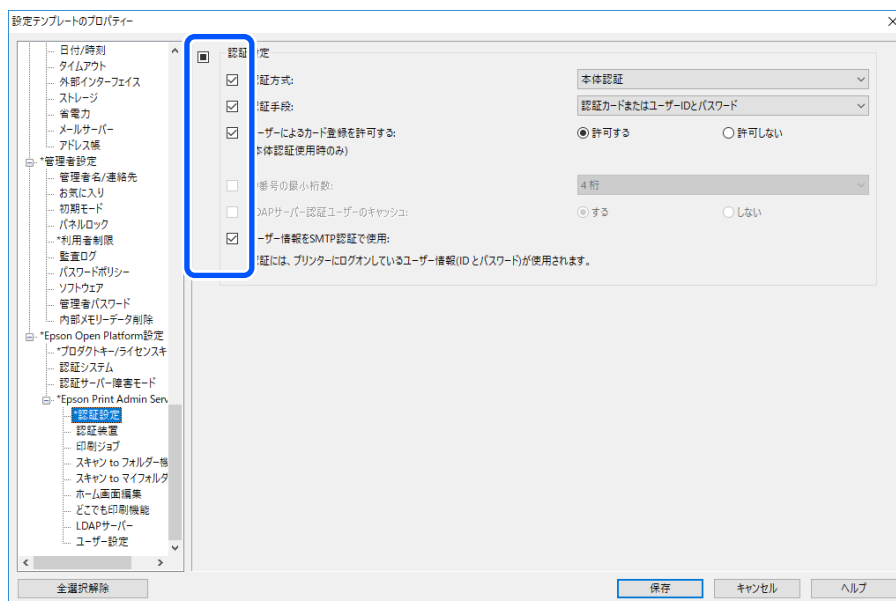
➔ [「認証方式による必要な設定」 15ページ](#)

Epson Device Admin（設定テンプレート）の操作概要

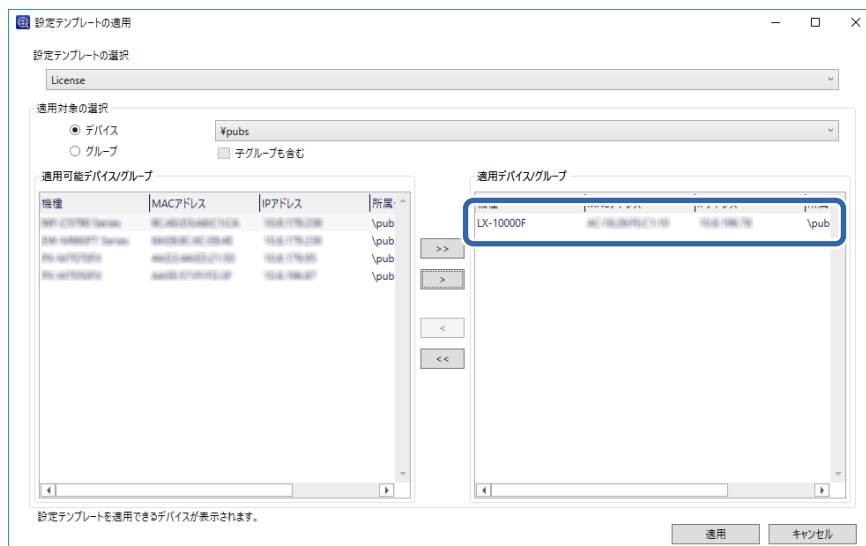
Epson Device Adminの設定テンプレートを使ってEpson Print Admin Serverlessの設定を行います。以下の流れで設定値をスキャナーに適用してください。

1. 設定テンプレートを新規作成します。

- 設定する機能の画面で設定値を入力、選択し、適用する項目にチェックを付けます。
以下は認証設定画面の例です。



- 設定テンプレートを保存します。
- 設定を適用するスキャナーを選択して設定テンプレートを適用します。



設定テンプレートの基本操作は関連情報をご覧ください。

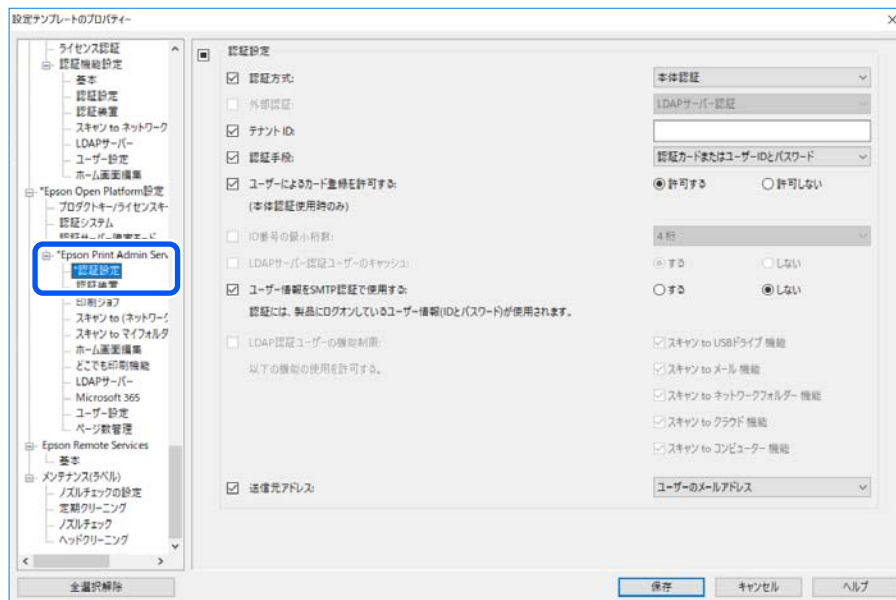
関連情報

- ➔ 「設定テンプレートを新規作成する」 26ページ
- ➔ 「設定テンプレートを適用する」 28ページ

ユーザー認証設定をする（設定テンプレート）

Epson Print Admin Serverlessの認証方式と認証手段を設定します。

1. 設定テンプレートから、[Epson Open Platform設定] - [Epson Print Admin Serverless] - [認証設定] を選択します。



2. 各項目を設定します。

各項目の詳細は関連情報をご覧ください。

関連情報

- ➔ 「[認証設定の設定項目（設定テンプレート）](#)」 57ページ

認証設定の設定項目（設定テンプレート）

項目	説明
認証方式	<p>認証方式を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 本体認証 スキャナーの本体に登録されたユーザー情報を使って認証します。スキャナー本体にユーザー情報の登録が必要です。 • 外部認証 連携している外部認証のユーザー情報を使って認証します。利用する外部認証に応じて、LDAPサーバーの設定やMicrosoft Entra ID認証の設定などが必要です。 • 本体認証と外部認証 スキャナー本体に登録されているユーザー情報に加えて、連携している外部認証を使ってユーザー情報を照合して認証します。スキャナーにユーザー情報の登録と、利用する外部認証に応じてLDAPサーバーの設定やMicrosoft Entra ID認証の設定などが必要です。 • みなし認証 あらかじめスキャナーに登録したIDカードのフォーマット情報を使って簡易的に認証します。ユーザー情報の登録は必要ありません。
外部認証	<p>ユーザー認証時に使用する外部認証の種類を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Microsoft Entra ID 認証 連携しているMicrosoft Entra IDに登録されているユーザー情報を使って認証します。Microsoft Entra ID認証を使用するには、Microsoft 365との連携とMicrosoft Entra ID認証の検索属性も設定する必要があります。スキャナー本体をMicrosoft 365と連携させるには、Web Configを使ってスキャナー本体からMicrosoftの組織アカウントでサインインする必要があります。Microsoft 365と連携させる方法は以下を参照してください。 「Microsoft 365との連携について」 39ページ 「スキャナー本体からMicrosoftアカウントでサインインする (Web Config)」 40ページ • LDAPサーバー認証 連携しているLDAPサーバーのユーザー情報を使って認証します。LDAPサーバー設定が必要です。
テナント ID	<p>Microsoft Entra IDにアクセスするためのテナントIDを入力します。Microsoft Entra ID認証を使用する場合に入力が必要です。また、スキャナーの操作パネルの【個人のクラウドストレージ】や、Microsoft Entra IDのアドレス帳の【個人用連絡先】を選択して、その機能を利用するときにも入力が必要です。</p> <p>参考 テナントIDの確認方法は以下を参照してください。 「Microsoft Entraのテナント IDを確認する」 34ページ</p>
認証手段	<p>認証手段を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 認証カードまたはユーザーIDとパスワード ユーザー認証にIDカードを使用します。ユーザーIDとパスワードによる認証も使用できます。 【認証方式】で【みなし認証】を選択していると【認証カード】に固定されます。 • ユーザーIDとパスワード ユーザー認証にユーザーIDとパスワードを使用します。 IDカードによる認証は使用できません。 • ユーザーID ユーザー認証にユーザーIDのみを使用します。パスワードの設定は必要ありません。 • 認証カードまたはID番号 ユーザー認証にIDカードを使用します。ID番号も使用できます。 • ID番号 ユーザー認証にID番号のみを使用します。

情報の登録とシステム設定

項目	説明
ユーザーによるカード登録を許可する	許可すると、認証カードの登録をユーザーが行えます。 以下の認証方法を選択していると設定できません。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [認証方式] で [外部認証] を選択し、 [外部認証] で [LDAPサーバー認証] を選択している場合 ・ [認証方式] で [みなし認証] を選択している場合
ID番号の最小桁数	ID番号の最小桁数を選択します。
ユーザーIDの最小バイト数(UTF-8)	ユーザーIDの最小バイト数を選択します。 ヨーロッパ、中東、アフリカ地域でのみ利用できます。
LDAPサーバー認証ユーザーのキャッシュ	LDAPサーバー認証を利用している場合、ユーザー情報のキャッシュを使用するかしないか設定できます。 [外部認証] が [LDAPサーバー認証] のときに設定できます。 [しない] を選択すると、スキャナーの操作パネルの [個人のクラウドストレージ] や、Microsoft Entra IDのアドレス帳の [個人用連絡先] を選択して、その機能を利用するときに、Microsoftアカウントでサインインする画面が毎回表示されます。
ユーザー情報をSMTP認証で使用する	認証手段にユーザーIDとパスワードを利用している場合、ユーザー情報をSMTP認証に利用するかしないか設定できます。最後にログオンしたユーザーIDとパスワードがSMTP認証に使用されます。
LDAP認証ユーザーの機能制限	外部認証 (Microsoft Entra ID 認証、LDAPサーバー認証) を利用している場合、ユーザーに利用を許可する機能を設定できます。 この設定は本機器では利用できません。
送信元アドレス	スキャン to メール 機能やスキャン to マイメール 機能を使用するときの送信元のメールアドレスを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ユーザーのメールアドレス スキャナーにログオンしているユーザーのメールアドレスを使用します。ユーザーのメールアドレスが設定されていないときは、スキャナーに設定されている送信元メールアドレスを使用します。 ・ 製品のメールアドレス スキャナーに設定されている送信元メールアドレスを使用します。

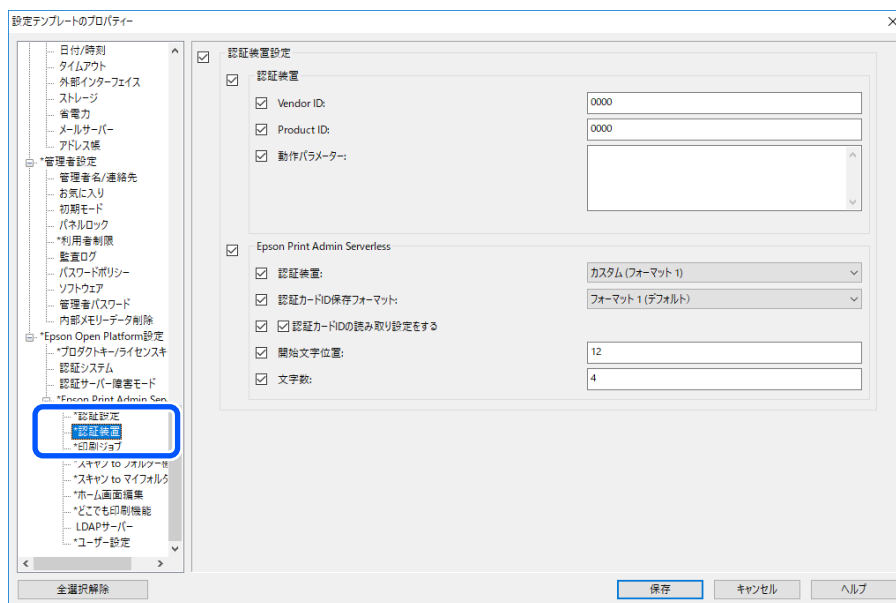
関連情報

➔ [「認証方式の概要」9ページ](#)

認証装置を設定する（設定テンプレート）

IDカードから取得する認証情報の読み取り形式を設定します。

1. 設定テンプレートから、[Epson Open Platform設定] - [Epson Print Admin Serverless] - [認証装置] を選択します。



2. 認証装置、IDカードの読み取り情報を設定します。

各項目の詳細は関連情報をご覧ください。

関連情報

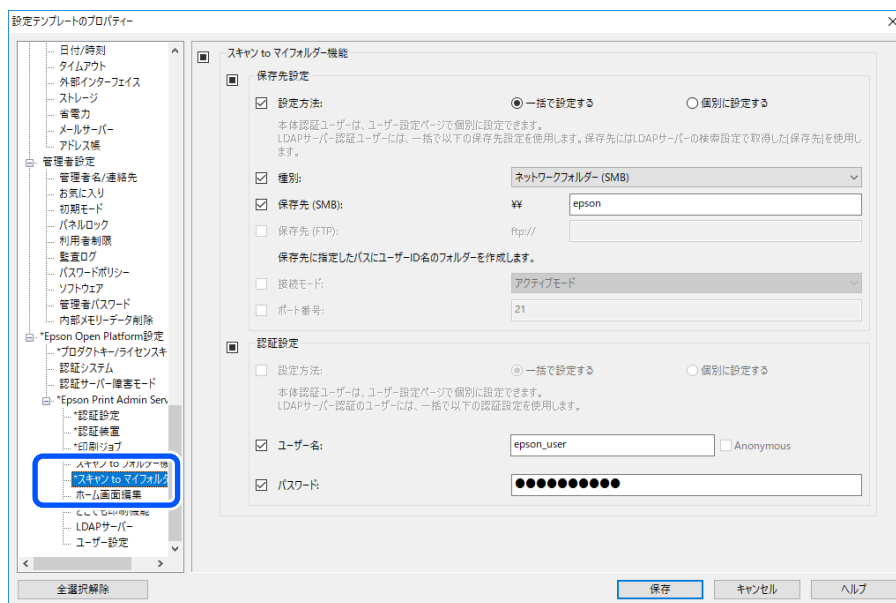
- ➔ [「認証装置設定項目」 48ページ](#)
- ➔ [「設定できる認証情報の読み取り方法」 24ページ](#)

スキャン to マイフォルダー機能を設定する（設定テンプレート）

Epson Print Admin Serverlessで使用するスキャンto マイフォルダー機能の宛先を設定します。スキャン to マイフォルダー機能は、指定したフォルダーパスやURLの直下にユーザーID名のフォルダーが自動作成され、スキャン結果が保存されます。

情報の登録とシステム設定

1. 設定テンプレートから、[Epson Open Platform設定] - [Epson Print Admin Serverless] - [スキャン to マイフォルダー機能] を選択します。



2. 各項目を設定します。

スキャン to マイフォルダー機能設定項目（設定テンプレート）

項目		説明
保存先設定	設定方法	<ul style="list-style-type: none"> • [一括で設定する] [保存先]に指定したフォルダーパスやURLの直下にユーザーID名のフォルダーが自動作成されてスキャン結果が保存されます。 • [個別に設定する]： ユーザーごとにスキャン結果の保存先を設定できます。 本体認証ユーザーはユーザー設定で個別に設定できます。 LDAP認証ユーザーはLDAPサーバーの検索属性で保存先を設定できます。
	種別	送信プロトコルを選択します。スキャンの出力先がネットワークフォルダーの場合、[ネットワークフォルダー (SMB)] を選択します。 FTP サーバーの場合は [FTP] を選択します。
	保存先 (SMB)	[種別] で [ネットワークフォルダー (SMB)] を選択した場合に設定します。 スキャンデータの出力先のパスを設定します。 Unicode (UTF-8) で表せる160文字以内で入力します。
	保存先 (FTP)	[種別] で [FTP] を選択した場合に設定します。スキャンデータの出力先のURLを設定します。 Unicode (UTF-8) で表せる160文字以内で入力します。
	接続モード	[種別] で [FTP] を選択した場合に設定します。 FTP サーバーへの接続モードを選択します。
	ポート番号	[種別] で [FTP] を選択した場合に設定します。 FTP サーバーにスキャンデータを送信するポートの番号を1~65535の間で入力します。
認証設定	設定方法	[保存先設定] の [設定方法] で [個別に設定する] を選択した場合に表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • [一括で設定する] 認証方法に関わらず [ユーザー名]、[パスワード] に設定した設定が認証に使用されます。 • [個別に設定する]： 本体認証ユーザーはユーザー設定で個別に設定できます。 LDAP認証ユーザーは [ユーザー名]、[パスワード] に設定した設定が認証に使用されます。
	ユーザー名	スキャン出力先フォルダーにアクセスするユーザー名を入力します。 Unicode (UTF-8) で表せる255文字以内で入力します。 [Anonymous] にチェックを付けるとユーザー名が「anonymous」に固定されます。
	パスワード	スキャン出力先フォルダーにアクセスするためのパスワードを入力します。 ASCII文字を使用して255文字で入力します。

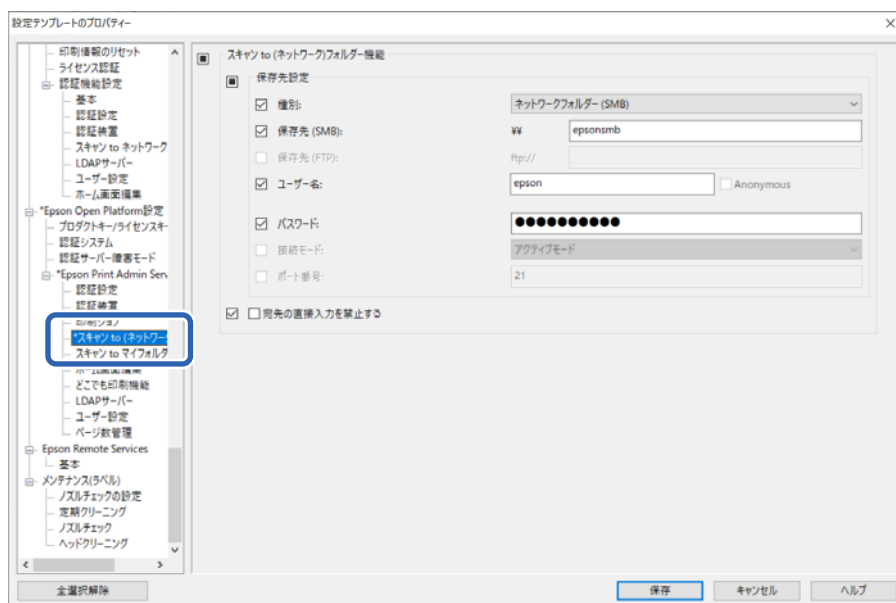
関連情報

➔ [「スキャン to マイフォルダー機能を設定する（設定テンプレート）」59ページ](#)

スキャン to (ネットワーク)フォルダー機能の宛先編集を禁止する (設定テンプレート)

スキャン to (ネットワーク)フォルダー機能のデフォルトの送信先は、ユーザーが変更できないよう設定できます。

1. 設定テンプレートから、[Epson Open Platform設定] - [Epson Print Admin Serverless] - [スキャン to (ネットワーク)フォルダー機能] を選択します。



2. [宛先の直接入力を禁止する] にチェックを付けます。

関連情報

- ➔ [「スキャン to ネットワークフォルダー 機能の宛先編集を禁止する \(Web Config\) 」 52ページ](#)

クラウドディレクトリーサービスと連携するための設定 (設定テンプレート)

Microsoft Entra IDのアドレス帳の検索属性の設定 (設定テンプレート)

Microsoft Entra IDのアドレス帳を使うと、「組織の連絡先」と「個人用連絡先に登録されているユーザーのメールアドレスなどを検索できます。

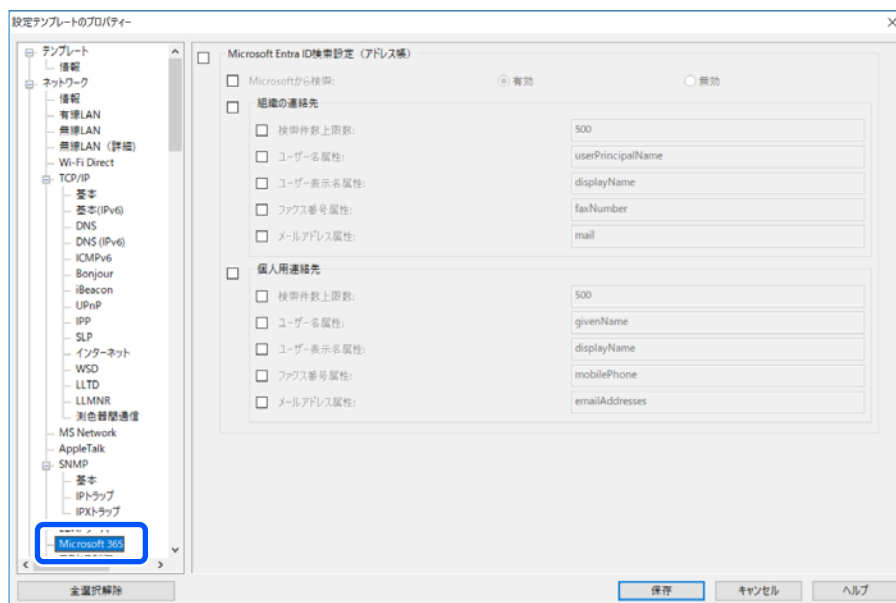
関連情報

- ➔ [「「組織の連絡先」の検索属性を設定する \(設定テンプレート\) 」 63ページ](#)
- ➔ [「「個人用連絡先」の検索属性を設定する \(設定テンプレート\) 」 64ページ](#)

「組織の連絡先」の検索属性を設定する（設定テンプレート）

Microsoft Entra IDのアドレス帳の「組織の連絡先」の検索属性を設定すると、連携しているMicrosoft Entra IDのアドレス帳の「組織の連絡先」に登録されているユーザーのメールアドレスなどを検索できます。

1. 設定テンプレートから、[ネットワーク] - [Microsoft 365] を選択します。



2. [Microsoft Entra ID検索設定 (アドレス帳)] にチェックを付けます。
3. [Microsoftから検索] から [有効] を選択します。
4. [組織の連絡先] の各項目を設定します。
各項目の詳細は関連情報をご覧ください。

関連情報

➔ 「[組織の連絡先]の検索設定項目（設定テンプレート）」63ページ

「組織の連絡先」の検索設定項目（設定テンプレート）

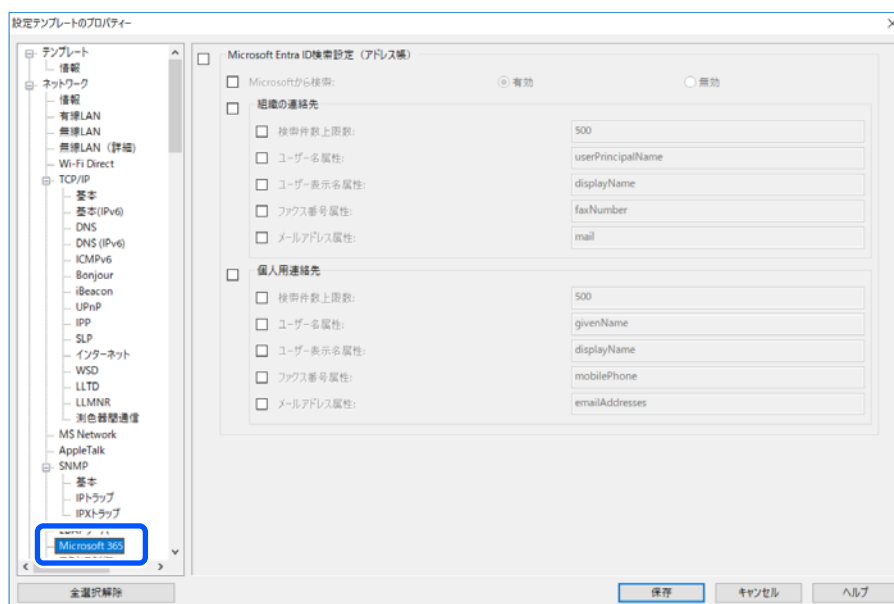
項目	設定値と説明
検索件数上限数	検索される数の上限を5～500以内で設定します。検索によって取得した、上限値までの件数を一時的に保存して表示します。上限値を超えると警告メッセージが表示されますが、検索は続行できます。
ユーザー名属性	ユーザー名として検索する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせ、1～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、a～zにしてください。 Example: userPrincipalName

項目	設定値と説明
ユーザー表示名属性	ユーザー表示名として検索する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせ、0～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、a～zにしてください。 Example: displayName
メールアドレス属性	メールアドレスとして検索する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせ、1～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、a～zにしてください。 Example: mail

「個人用連絡先」の検索属性を設定する（設定テンプレート）

Microsoft Entra IDのアドレス帳の「個人用連絡先」の検索属性を設定すると、連携しているMicrosoft Entra IDのアドレス帳の「個人用連絡先」に登録されているユーザーのメールアドレスなどを検索できます。「個人用連絡先」には、各ユーザーがMicrosoft Outlookなどで登録した個人用の連絡先が登録されています。

1. 設定テンプレートから、[ネットワーク] - [Microsoft 365] を選択します。



2. [Microsoft Entra ID検索設定 (アドレス帳)] にチェックを付けます。
3. [Microsoftから検索] から [有効] を選択します。
4. [個人用連絡先] の各項目を設定します。
各項目の詳細は関連情報をご覧ください。

関連情報

- ➡ 「「個人用連絡先」の検索設定項目（設定テンプレート）」 65ページ

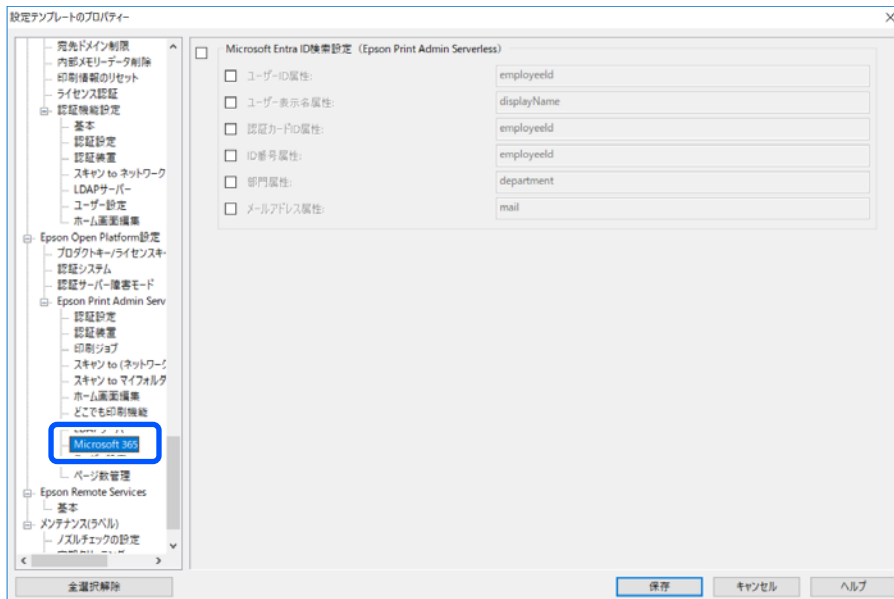
「個人用連絡先」の検索設定項目（設定テンプレート）

項目	設定値と説明
検索件数上限数	検索される数の上限を5~500以内で設定します。検索によって取得した、上限値までの件数を一時的に保存して表示します。上限値を超えると警告メッセージが表示されますが、検索は続行できます。
ユーザー名属性	ユーザー名として検索する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせ、1~255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA~Z、a~zにしてください。 Example: userPrincipalName
ユーザー表示名属性	ユーザー表示名として検索する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせ、0~255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA~Z、a~zにしてください。 Example: displayName
メールアドレス属性	メールアドレスとして検索する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせ、1~255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA~Z、a~zにしてください。 Example: mail

Microsoft Entra ID認証の検索属性を設定する（設定テンプレート）

連携しているMicrosoft Entra IDからEpson Print Admin Serverlessに登録するユーザーの検索属性を設定します。

1. 設定テンプレートから、[Epson Open Platform設定] - [Epson Print Admin Serverless] - [Microsoft 365] を選択します。



2. [Microsoft Entra ID検索設定 (Epson Print Admin Serverless)] にチェックを付けます。

3. 各項目を設定します。

各項目の詳細は関連情報をご覧ください。

Microsoft Entra ID認証の検索設定項目（設定テンプレート）

項目	設定値と説明
ユーザーID属性	ユーザーIDとして検索する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせ、1～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、a～zにしてください。 設定例：employeeid
ユーザー表示名属性	ユーザー表示名として検索する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせ、0～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、a～zにしてください。 設定例：displayName
認証カードID属性	認証カードIDとして検索する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせ、0～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、a～zにしてください。 設定例：employeeid
ID番号属性	ID番号として検索する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせ、0～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、a～zにしてください。 設定例：employeeid
部門属性	部門名として検索する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせ、0～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、a～zにしてください。 設定例：department
メールアドレス属性	メールアドレスとして検索する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせ、0～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、a～zにしてください。 設定例：mail

LDAPサーバーと連携する（設定テンプレート）

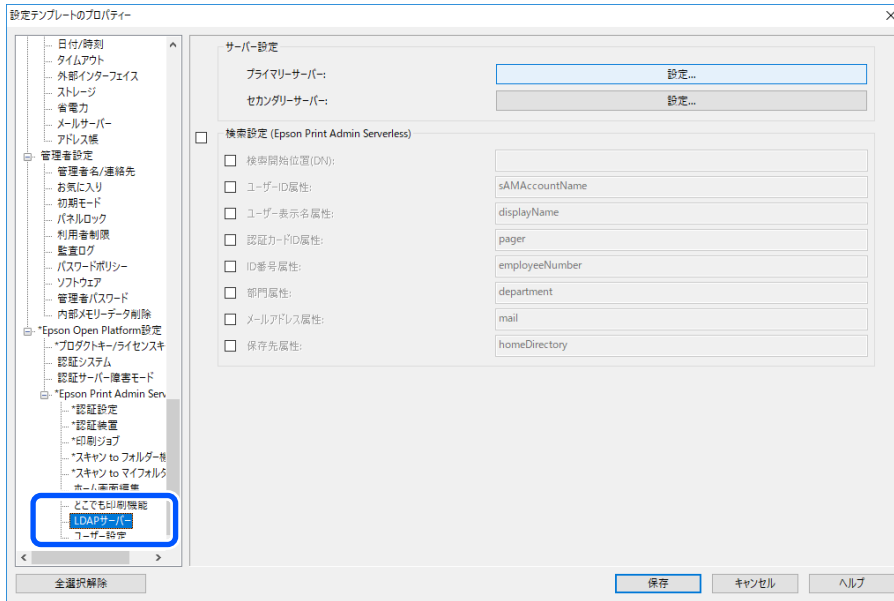
使用するLDAPサーバー設定とユーザー情報を特定するための検索属性を設定します。

[認証方式] で [外部認証] や [本体認証と外部認証] を選択し、[外部認証] で [LDAPサーバー認証] を選択した場合に設定してください。

LDAPサーバーの冗長システムとして使用できます。

参考 ここで設定したLDAPサーバー設定は、[アドレス帳] で使用される [ネットワーク] - [LDAPサーバー] の [サーバー設定 (プライマリーサーバー)]、[サーバー設定 (セカンダリーサーバー)] と共有です。どちらかの値を変更するともう一方に反映されます。

1. 設定テンプレートから、[Epson Open Platform設定] - [Epson Print Admin Serverless] - [LDAPサーバー] を選択します。



2. 各項目を設定します。
各項目の詳細は関連情報をご覧ください。

関連情報

- ➔ [「LDAPサーバー設定項目」 67ページ](#)
- ➔ [「Kerberos 設定項目」 70ページ](#)
- ➔ [「LDAPサーバー認証の検索設定項目」 69ページ](#)

利用できるサービス

対応しているディレクトリーサービスは以下の通りです。

サービス名	バージョン
Active Directory	Windows Server 2008, Windows Server 2008 R2, Windows Server 2012, Windows Server 2012 R2, Windows Server 2016, Windows Server 2019
OpenLDAP	Ver.2.3, Ver.2.4

LDAPサーバー設定項目

[サーバー設定 (プライマリサーバー)] の [設定] をクリックします。

情報の登録とシステム設定

【認証方式】で【Kerberos認証】を選択する場合は【ネットワーク】 - 【セキュリティ】 - 【Kerberos設定】からKerberos設定をしてください。

The screenshot shows a 'Server Settings' dialog box with the following configuration:

- LDAPサーバーを使用する: 使用する 使用しない
- LDAPサーバーアドレス: 192.0.2.111
- ポート番号: 389
- セキュア接続: なし
- 証明書の検証: 有効 無効
- 検索タイムアウト: 30 秒
- 認証方式: Anonymous認証
- 使用するKerberosレルム: 未設定
- 管理者DN / ユーザー名:
- パスワード:

項目	設定値と説明
LDAPサーバーを使用する	使用する場合はチェックを付けます。
LDAPサーバーアドレス	LDAPサーバーのアドレスを入力します。IPv4、IPv6、FQDNのいずれかの形式で1～1024文字以内で指定します。FQDN形式ではUS-ASCII文字の数字とアルファベット、ハイフン（先頭と末尾以外）が使用できます。
ポート番号	LDAPサーバーのポート番号を1～65535以内の半角数字で入力します。
セキュア接続	スキャナーがLDAPサーバーにアクセスする際の認証方式を指定します。
証明書の検証	有効にするとLDAPサーバーの証明書の正当性をチェックします。【有効】にすることをお勧めします。 設定するには、スキャナーに【相手サーバー検証用証明書】のインポートが必要です。
検索タイムアウト	検索を開始してからタイムアウトするまでの時間（秒）を0～99999までの半角数字で入力します。
認証方式	認証方式を選択します。 【Kerberos認証】を選択する場合は、【Kerberos設定】を選択し、Kerberos設定をしてください。 Kerberos認証を行うには以下の環境が必要です。 <ul style="list-style-type: none"> スキャナーとDNSサーバーが通信できること スキャナーとKDCサーバー、認証が必要なサービスを提供するサーバー（LDAPサーバー、SMTPサーバー、ファイルサーバー）の時刻の同期が取れていること サービスサーバーをIPアドレスで指定している場合、DNSサーバーの逆引き参照ゾーンにサービスサーバーのFQDNが登録されていること
使用するKerberosレルム	【認証方式】で【Kerberos認証】を選択した場合に、使用するKerberosレルムを選択します。
管理者DN / ユーザー名	Unicode (UTF-8)で表せる1024文字以内でLDAPサーバーのユーザー名を入力します。制御文字（0x00～0x1F、0x7F）は使用できません。この項目は【認証方式】を【Anonymous認証】にすると無効になります。指定しない場合は空白にします。
パスワード	Unicode (UTF-8)で表せる1024文字以内でLDAPサーバー認証のパスワードを入力します。制御文字（0x00～0x1F、0x7F）は使用できません。この項目は【認証方式】を【Anonymous認証】にすると無効になります。指定しない場合は空白にします。

関連情報

➔ [「LDAPサーバーからインポートする」72ページ](#)

LDAPサーバー認証の検索設定項目

LDAPサーバー認証に連携する登録するユーザー情報の検索属性を設定します。

検索設定

項目	設定値と説明
検索開始位置(DN)	LDAPサーバーからユーザー情報を検索するときの検索開始位置を指定します。 Unicode (UTF-8) で表せる0~128文字以内で入力します。検索位置を指定しないときは空白にします。 設定例：localのserverディレクトリー：dc=server,dc=local
ユーザーID属性	ユーザーIDとして検索する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせて、1~255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA~Z、a~zにしてください。 設定例：cn、uid
ユーザー表示名属性	ユーザー表示名として検索する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせて、0~255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA~Z、a~zにしてください。 設定例：cn、name
認証カードID属性	認証カードIDとして検索する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせて、0~255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA~Z、a~zにしてください。 設定例：cn、sn
ID番号属性	ID番号として検索する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせて、0~255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA~Z、a~zにしてください。 設定例：cn、id
部門属性	部門名として検索する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせて、0~255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA~Z、a~zにしてください。 設定例：ou、ou-cl
メールアドレス属性	メールアドレスとして検索する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせて、0~255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA~Z、a~zにしてください。 設定例：mail
保存先属性	スキャン to マイフォルダー機能の保存先を参照する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせて、0~255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA~Z、a~zにしてください。 設定例：homeDirectory

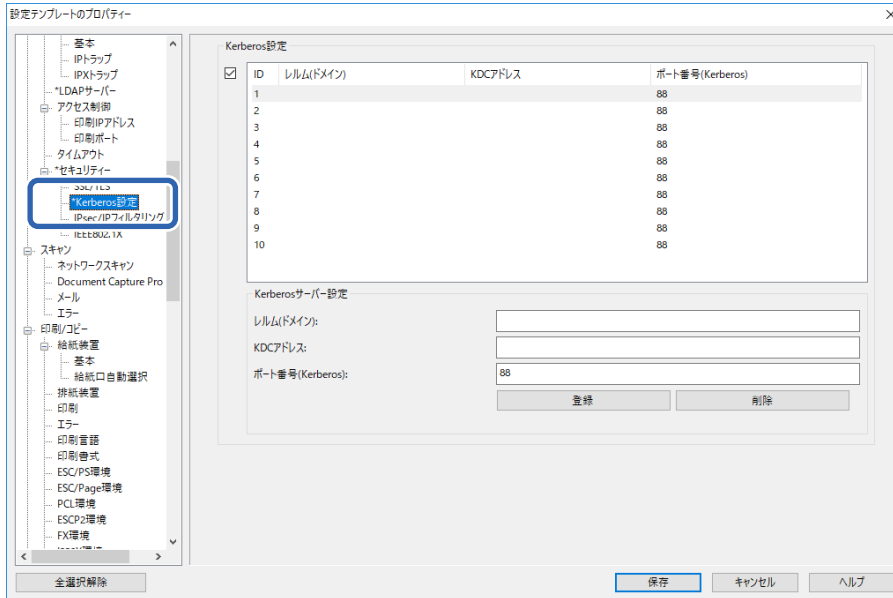
関連情報

➔ [「LDAPサーバーとの連携 \(Web Config\) 」43ページ](#)

➔ [「LDAPサーバーからインポートする」72ページ](#)

Kerberos 設定項目

[ネットワーク] - [セキュリティ] - [Kerberos設定] を選択します。



項目	設定値と説明
レルム(ドメイン)	Kerberos認証のレルムをASCII文字で表せる1024文字以内で指定します。登録しない場合は空白にします。
KDCアドレス	Kerberos認証サーバーのアドレスを入力します。IPv4、IPv6、FQDNのいずれかの形式で1024文字以内で指定します。登録しない場合は空白にします。
ポート番号(Kerberos)	Kerberosサーバーのポート番号を1～65535以内の数字で入力します。

ユーザー情報の登録（設定テンプレート）

ユーザー認証に使用するユーザー情報を登録します。

[認証方式] で [外部認証] や [みなし認証] を選択した場合、ユーザー情報の登録は不要です。

ユーザー情報のインポート（設定テンプレート）

LDAPサーバーやCSV/ENEファイルを利用して、本体認証で使用されるユーザー情報を本体に一括で登録できます。

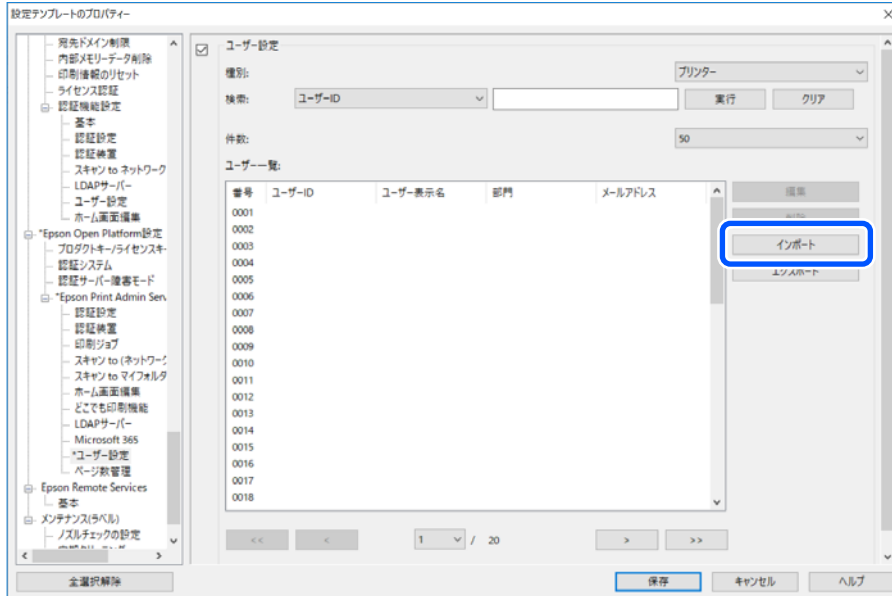
LDAPサーバーからEpson Print Admin Serverless用にユーザー情報を検索し、インポートして登録できます。

ユーザー情報はアドレス帳で宛先を使用していない件数までインポートできます。

参考 ENEファイルはエプソン独自の暗号化ファイル形式で、個人情報を含むアドレス帳の情報やユーザー情報などを保存するバイナリファイルです。Epson Device Adminからエクスポートでき、パスワードを設定できます。バックアップしたユーザー情報をインポートするような場合に使用できます。

CSVファイル/ENEファイルからインポートする

1. [Epson Open Platform設定] - [Epson Print Admin Serverless] - [ユーザー設定] の順に選択します。
2. [種別] で [スキャナー] を選択します。
3. [インポート] をクリックします。



4. [インポート元] で [CSV/ENEファイル] を選択します。



5. [参照] をクリックします。
ファイル選択画面が表示されます。
6. インポートするファイルを選択して [開く] をクリックします。
7. インポート方法を選択します。
 - 上書き、追加する：同じユーザーIDがある場合は上書きし、ない場合は追加します。
 - 全て置き換える：インポートするユーザー情報に全て置き替えます。
8. [インポート] をクリックします。
確認画面が表示されます。

9. [OK] をクリックします。

読み込み内容の検証が始まり、結果を表示します。

検証結果

エラーは検出されませんでした。
[インポート]をクリックすると、インポートファイル情報リストの内容でインポートを実行します。

エラー情報
エラーは検出されませんでした。
詳細...

インポート情報
有効なユーザー数: 10 / 1000

ユーザーID	ユーザー表示名	部門
epson001	epson001	epson pubs
epson002	epson002	epson pubs
epson003	epson003	epson pubs
epson004	epson004	epson pubs
epson005	epson005	epson pubs
epson006	epson006	epson pubs
epson007	epson007	epson pubs
epson008	epson008	epson pubs
epson009	epson009	epson pubs
epson010	epson010	epson pubs

編集
ユーザーの削除...

インポート キャンセル

参考

- 読み込んだユーザー情報がインポートできる件数を超えた場合、ユーザー情報を削除するよう案内が表示されます。インポートする前に超過しているユーザー情報を削除してください。
- [ユーザーの削除] をクリックするとユーザー情報の削除画面が開きます。ユーザー情報を選択して [削除] をクリックすると、インポート前にユーザー情報を削除できます。

10. [インポート] をクリックします。

ユーザー情報が設定テンプレートにインポートされます。

関連情報

➡ [「ユーザー情報を一括で登録するためのCSVファイルを作成する」36ページ](#)

LDAPサーバーからインポートする

- [Epson Open Platform設定] - [Epson Print Admin Serverless] - [ユーザー設定] の順に選択します。
- [インポート] をクリックします。
- [インポート元] で [LDAP] を選択します。

インポート元の選択

インポート元: CSV/ENEファイル LDAP

LDAP

LDAPサーバーの設定: 設定...

以下のLDAPサーバーからユーザー情報を読み込みます。

サーバーアドレス: 192.0.2.111

インポート方法: 上書き、追加する 全て置き換える

インポート キャンセル

4. [設定] をクリックします。

LDAPサーバー設定が表示されます。



このLDAPサーバー設定は、LDAPサーバーのユーザー情報をインポートするための設定です。ここで取得したユーザー情報はスキャナーにインポート（コピー）して本体認証で使用するユーザーとして登録されます。一方、[外部認証] や [本体認証と外部認証] で使用するLDAPサーバー設定は、LDAPサーバーと通信しながら認証するために設定します。

5. 各項目を設定します。

LDAPサーバーからユーザー情報をインポートする場合、LDAP設定の項目に加えて以下が設定できます。その他の項目は関連情報をご覧ください。

項目		説明	
LDAPサーバーの設定	LDAPサーバーの種類	LDAPサーバーの種類を選択できます。	
検索設定	検索フィルター	LDAP検索フィルターの文字列を設定できます。[手動設定] を選択すると検索文字列を編集できます。	
	オプション	種別	スキャン to マイフォルダー機能の保存先の種別を設定できます。
		接続モード	[種別] が [FTP] のとき、FTPの接続モードを設定できます。
		ポート番号	[種別] が [FTP] のとき、使用するポート番号を設定できます。

6. 必要に応じて [接続テスト] をクリックし、接続テストを行います。

LDAPサーバーから10件分のユーザー情報を取得して表示します。

7. [OK] をクリックします。

8. インポート方法を選択します。

- 上書き、追加する：同じユーザーIDがある場合は上書きし、ない場合は追加します。

- 全て置き換える：インポートするユーザー情報に全て置き替えます。

9. [インポート] をクリックします。

確認画面が表示されます。

10. [OK] をクリックします。

読み込み内容の検証が始まり、結果を表示します。



【ユーザーの削除】をクリックするとユーザー情報の削除画面が開きます。ユーザー情報を選択して【削除】をクリックすると、インポート前にユーザー情報を削除できます。

11. [インポート] をクリックします。

ユーザー情報が設定テンプレートにインポートされます。

関連情報

- ➔ [「ユーザー情報を一括で登録するためのCSVファイルを作成する」 36ページ](#)
- ➔ [「LDAPサーバーとの連携 \(Web Config\) 」 43ページ](#)
- ➔ [「ユーザー情報のメンテナンス」 85ページ](#)
- ➔ [「LDAPサーバー設定項目」 67ページ](#)
- ➔ [「LDAPサーバー認証の検索設定項目」 69ページ](#)

その他の設定（設定テンプレート）

必要に応じて設定してください。

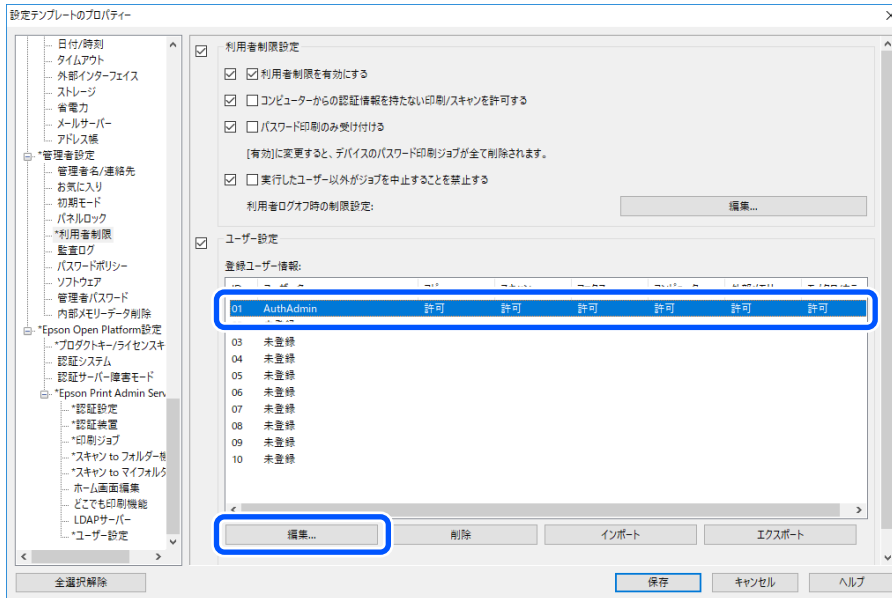
認証ユーザーの利用許可を設定する（設定テンプレート）

Epson Print Admin Serverlessの本体認証を使用している場合、ユーザー情報の登録時にユーザーごとに利用者制限を設定できます。

ログオンした全てのユーザーの全スキャン機能を制限することもできます。スキャン機能を停止したいときに設定します。以下の手順を参照してください。

1. 設定テンプレートから【管理者設定】 - 【利用者制限】を選択して、【利用者制限を有効にする】にチェックを付けます。
2. 【ユーザー設定】にチェックを付けます。

3. [01] を選択して、[編集] をクリックします。



4. [スキャン] の設定を変更します。
5. [OK] をクリックします。

関連情報

- ➔ [「認証ユーザーの利用許可を設定する \(Web Config\)」 45ページ](#)
- ➔ [「ユーザー情報の設定項目」 35ページ](#)

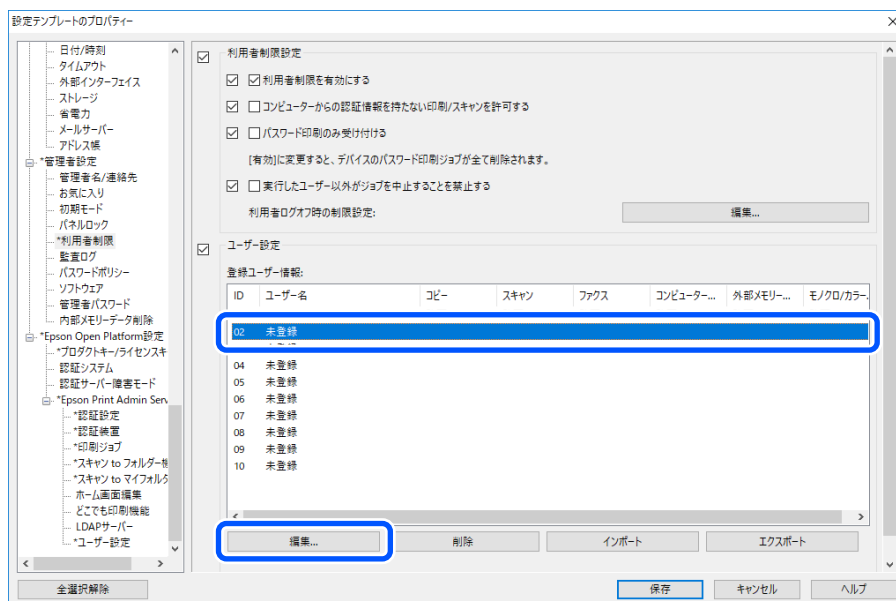
ドライバーの利用許可を設定する (設定テンプレート)

コンピューターからスキャンできるように利用許可を設定します。

1. 設定テンプレートから [管理者設定] - [利用者制限] を選択して、[利用者制限を有効にする] にチェックを付けます。
 - ユーザーを制限しないときは、[認証情報の無い印刷/スキャンを許可する] を選択して [OK] をクリックします。
 - ユーザーを制限するときには、以下の手順でEpson Scan 2から利用するためのアカウントを設定します。
2. [ユーザー設定] にチェックを付けます。

3. [01] を除く登録されていない行のIDを選択します。

参考 [01] は認証システムなどのアプリケーションが使用します。



4. 任意の [ユーザー名] と [パスワード] を入力します。

参考 ここで設定したユーザー名、パスワードがドライバーの認証に使用されます。

5. [スキャン] の [許可] を選択します。
6. [OK] をクリックします。

Epson Scan 2を使用するコンピューターで、手順3で設定したユーザー名とパスワードを登録してください。

関連情報

➔ [「コンピューターからスキャンする」46ページ](#)

認証なしでスキャン機能の使用を許可する（設定テンプレート）

ユーザーがログオフしているときもスキャン機能の使用を許可します。ログオン画面に機能のアイコンが表示されません。

1. 設定テンプレートから [管理者設定] - [利用者制限] を選択して、[利用者制限を有効にする] にチェックを付けます。
2. [利用者ログオフ時の制限設定] の [編集] をクリックします。
3. [利用者ログオフ時の制限設定] にチェックを付けます。
4. [スキャン] の [許可] を選択します。
5. [OK] をクリックします。

関連情報

➔ [「認証なしでスキャン機能の使用を許可する \(Web Config\) 」 48ページ](#)

メールサーバーの設定 (設定テンプレート)

メールを送信する機能を使用する場合に設定してください。

- スキャン to マイメール 機能
スキャナーにログオンしたユーザーのメールアドレスへスキャン結果を送信する機能です。
- スキャン to メール 機能
指定したメールアドレスへスキャン結果を送信する機能です。
- メール通知
エラーなどのイベントが発生したときにメールを受け取る機能です。

メールサーバーは、設定テンプレートの [共通] - [メールサーバー] - [メールサーバー設定] で設定します。メールサーバーの設定項目について、詳しくはスキャナーの『ユーザーズガイド』『メールサーバーを登録する』をご覧ください。

関連情報

➔ [「ユーザー情報の登録 \(設定テンプレート\) 」 70ページ](#)

➔ [「メール通知の概要」 89ページ](#)

ホーム画面を編集する (設定テンプレート)

操作パネルのホーム画面に表示するアイコンのレイアウトを編集し、必要なアイコンだけを表示できます。

1. 設定テンプレートから、[Epson Open Platform設定] - [Epson Print Admin Serverless] - [ホーム画面編集] を選択します。
2. 各項目を設定します。

参考 以下の場合は、特定の機能のアイコンがホーム画面に表示されません。

- 利用者制限で使用できない機能を選択した場合
- ログオンしたユーザーのメールアドレスが登録されていない場合 (スキャン to マイメール 機能)
- 保存先のフォルダーが設定されていない場合 (スキャン to マイフォルダー機能)

項目	説明
ホーム画面編集	[有効] を選択します。
パネルサイズ	[5 inch] を選択します。
1ページあたりの最大表示数	操作パネルに表示するアイコンのレイアウトを選択します。選択したレイアウトに従ったイメージが下部に表示されます。
ページ数	ページの数を選択します。
機能割り当て	各番号の位置に表示する機能を選択します。

運用・管理

Epson Device Adminを使ったユーザーレポート

Epson Device Adminを使用してEpson Print Admin Serverlessのレポートをグループやユーザーごとに作成できます。レポートの作成には、レポートの期間を指定して作成する方法とスケジュールを設定して定期的に作成する方法があります。レポートの作成を始める前にデバイスグループを作成してください。

この設定項目は、Epson Print Admin Serverless / 認証機能 設定メニューを有効にすると表示されます。

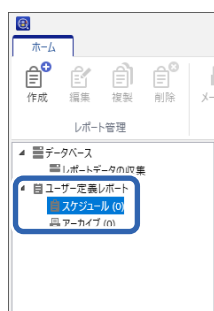
- 参考**
 - Epson Device Adminにスキャナーの管理者パスワードを登録していないと、スキャナーからジョブ履歴を収集できません。
あらかじめスキャナーの管理者パスワードを登録してください。登録の手順は以下を参照してください。
[「Epson Device Adminにスキャナーの管理者パスワードを登録する」 15ページ](#)
 - ジョブ履歴は最大3,000件までスキャナー本体に保存されます。

関連情報

- ➔ [「Epson Print Admin Serverless / 認証機能 設定メニューを表示する」 84ページ](#)

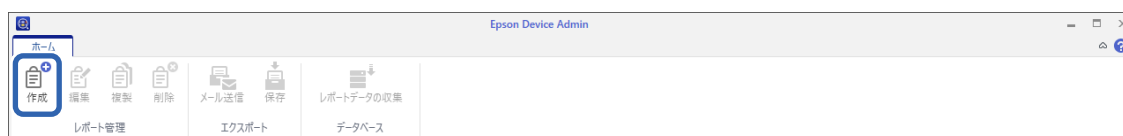
ユーザーレポートを生成する

- サイドバータスクメニューで【レポート】を選択します。
- ツリービューで【ユーザー定義レポート】 - 【スケジュール】を選択します。



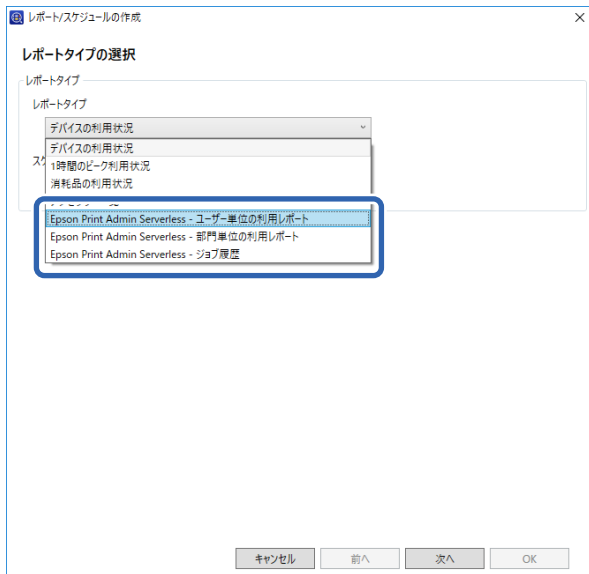
- リボンメニューで【作成】をクリックします。

レポート作成ウィザードが表示されます。



4. レポートデータを収集する条件を以下から選択します。

[ユーザー単位の利用レポート] / [部門単位の利用レポート] / [ジョブ履歴]



5. 期間を指定してレポートを作成するか、スケジュールを設定して定期的に作成するかを選択します。

期間を指定してレポートを作成する場合：[スケジュールの作成] のチェックを外します。

スケジュールを作成する場合：[スケジュールの作成] をチェックします。

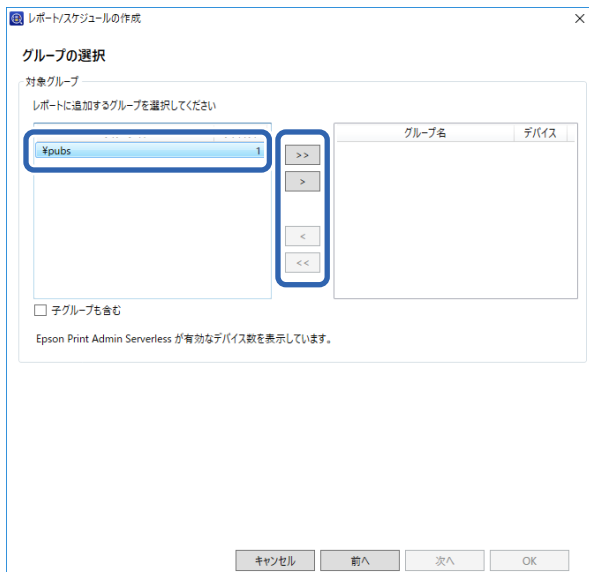
6. [次へ] をクリックします。

7. レポート対象のグループを選択します。

右の枠にリストされているグループが対象です。変更するには [>]、[>>]、[<]、[<<] を使ってグループを移動します。

[>]、[<] は選択したグループ、[>>]、[<<] は全てのグループを移動できます。

[子グループも含む] にチェックすると、グループを選択したときに子グループも自動的に選択します。



8. [次へ] をクリックします。
9. レポートの対象期間を設定します。

レポートスケジュールの作成

レポート範囲の指定

対象日の範囲

対象日の範囲

直前 1 月

基準日 作成日 2018/02/22

レポートも作成日から1月分さかのぼって作成

HTML 推奨レポートサイズ：
 70 Kbytes (ユーザー数/部門数が 100 件の場合)
 650 Kbytes (ユーザー数/部門数が 1000 件の場合)
 1300 Kbytes (ユーザー数/部門数が 2000 件の場合)
 2000 Kbytes (ユーザー数/部門数が 3000 件の場合)

ユーザー数/部門数が 3000 件以上の場合はサイズ制限により、HTMLレポートは作成されないことがあります。

キャンセル 前へ 次へ OK

以下を参照して設定してください。

項目	説明
対象日の範囲	レポートの作成日または指定した日を基点とした期間を指定します。1 以上の数字と日 / 週 / 月 / 年の単位の組み合わせで指定してください。

10. [次へ] をクリックします。
11. レポート通知メールを設定します。

レポートスケジュールの作成

送信先の指定

通知方法

方法 アーカイブのみ メールとアーカイブ

メール通知設定

メールアドレス admin@pubs.net 履歴から選択

メール件名 Epson Device Adminレポート

ファイルフォーマット PDF HTML CSV

キャンセル 前へ 次へ OK

以下を参照して設定してください。

項目	説明
方法	メールで通知するかどうか指定します。
メールアドレス	レポートを通知するメールの宛先を入力します。 複数の宛先を入力する場合は ; で区切ります。 区切りの文字を合わせて32767 バイトまで入力できます。宛先は全て To になります。 CC、BCC は設定できません。
メール件名	レポートを通知するメールの件名です。256 文字まで入力できます。
ファイルフォーマット	レポートのファイル形式です。PDF、HTML、CSV から選択します。 [ジョブ履歴] のレポートはCSVのみ指定できます。

12. [次へ] をクリックします。

13. レポートの名前を設定します。

レポート名は Unicode で表すことができる文字1024文字以内で入力してください。

14. [次へ] をクリックします。

15. スケジュールを設定します。

- 参考**
- 手順 5 で [スケジュールの作成] のチェックを外すと、この画面は表示されません。
 - [作成スケジュール] の [開始日時] の時間は、データ収集の時刻よりも後の時刻に設定してください。データ収集時刻の前に設定すると、レポート対象期間の最終日分のデータ収集が始まる前にレポートが作成されます。

レポートスケジュールの作成

スケジュールの指定

作成スケジュール

開始日時
2018/02/22 12:00

終了日
 終了日なし
 終了日 2019/02/21

レポート周期
レポート周期
1回のみ

レポートは、2018/02/22 12:00に作成されます。

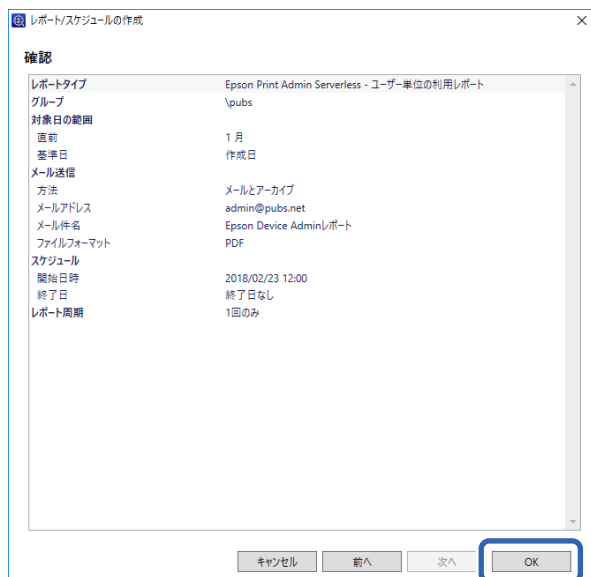
キャンセル 前へ 次へ OK

以下を参照して設定してください。

項目	説明
開始日時	スケジュールを開始する日時を設定します。設定できる単位は 1 分です。
終了日	スケジュールを終了する日時を設定します。 終了日を設定しない場合は [終了日なし] を選択します。
レポート周期	レポートを作成する期間の単位を設定します。

16. [次へ] をクリックします。

17. [OK] をクリックします。



レポートまたはスケジュールが作成されます。作成されたレポートは、アーカイブレポートとして保存されます。

レポート出力の項目

レポートでは以下の項目が出力されます。

参考 スキャナーで記録される項目のみ記載しています。印刷など、スキャナーに搭載されていない機能は利用履歴が記録されません。

ユーザー単位の利用レポート

ユーザーID/部門/スキャン

部門単位の利用レポート

部門/スキャン

参考 認証方式で [みなし認証] を選択している場合、部門別の集計はできません。

ジョブ履歴

日付/ジョブID/操作/ユーザーID/部門/処理結果/処理結果詳細/スキャン：宛先種別/スキャン：宛先/スキャン：用紙サイズ/スキャン：両面/スキャン：カラー/スキャン：面数/デバイス：機種/デバイス：IPアドレス/デバイス：製造番号/デバイス：部門/デバイス：設置先名/デバイス：備考/デバイス：備考2

Epson Device Adminを使ったスキャナーの管理

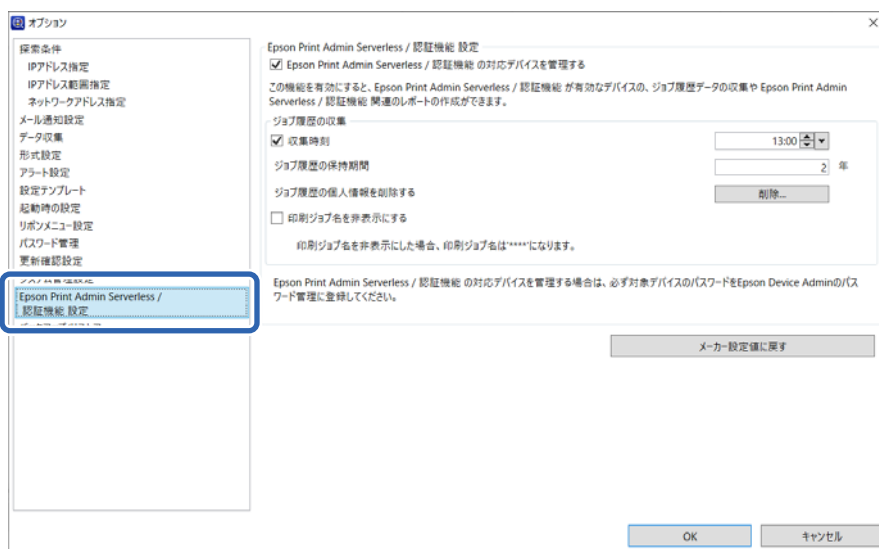
Epson Device Adminを使ってスキャナーの管理をすることができます。

Epson Print Admin Serverless / 認証機能 設定メニューを表示する

Epson Print Admin Serverlessに関する設定メニューを表示します。デフォルトでは表示しないように設定されています。

重要 Epson Device Adminにスキャナーの管理者パスワードを登録していない場合は、先にパスワードを登録してください。
登録の手順は以下を参照してください。
[「Epson Device Adminにスキャナーの管理者パスワードを登録する」 15ページ](#)

1. Epson Device Adminを起動します。
2. リボンメニューで [オプション] をクリックし、 [Epson Print Admin Serverless / 認証機能 設定] を選択します。



3. 各項目を設定します。
4. [OK] をクリックします。

Epson Print Admin Serverless設定

項目	説明
Epson Print Admin Serverless / 認証機能 の対応デバイスを管理する	<p>チェックを付けると、Epson Print Admin Serverlessに関する設定項目を有効にし、以下の操作や設定ができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Epson Print Admin Serverlessが有効なスキャナーのジョブ履歴データ収集 • Epson Print Admin Serverless関連レポートの生成 • リボンメニューの [機器利用ユーザーの 編集] ボタンの表示

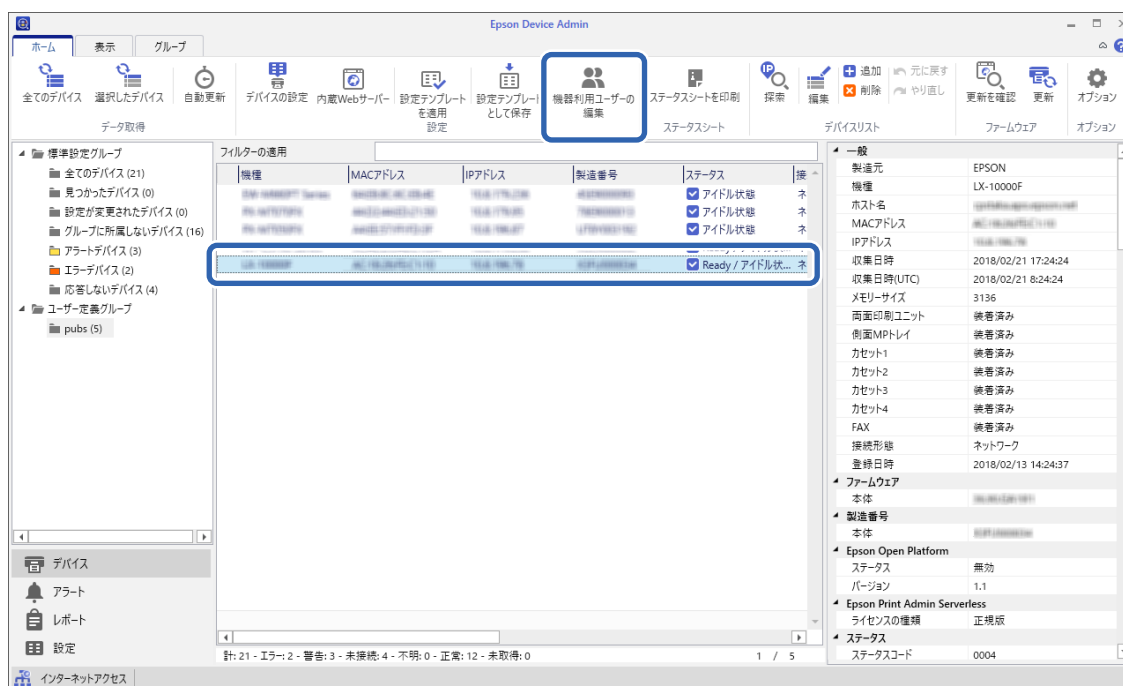
項目	説明
収集時刻	チェックを付けると、Epson Print Admin Serverlessが有効なスキャナーのジョブ履歴のデータを収集する時刻を設定できます。
ジョブ履歴の保持期間	Epson Device Adminがジョブ履歴を保持している期間を最長5年まで設定できます。保持期間が過ぎたジョブ履歴は削除されます。
ジョブ履歴の個人情報を削除する	[削除] をクリックすると、ジョブ履歴の個人情報を削除できます。
印刷ジョブ名を非表示にする	スキャナーでは使用しません。

ユーザー情報のメンテナンス

本体に登録されているユーザー情報をメンテナンスできます。

個別に編集する

1. デバイス一覧からユーザー情報をメンテナンスするスキャナーを選択します。



2. リボンメニューから [設定] - [機器利用ユーザーの編集] を選択します。

ユーザー一覧が表示されます。

3. 編集したいユーザーを選択します。

- 参考** [検索] で検索したい項目を選択してキーワードを入力し、[実行] をクリックするとユーザー一覧から検索ができます。
[クリア] をクリックすると入力した値をクリアできます。

4. [編集] をクリックします。

ユーザー情報が表示されます。

5. 各項目を編集し、[OK] をクリックします。

ユーザー編集

ユーザーID:

ユーザー表示名:

パスワード: 設定...

認証カードID:

ID番号: デバイスで自動生成する

部門:

メールアドレス:

6. [送信] をクリックします。

送信確認画面が表示されます。

Epson Device Admin

ユーザー設定

検索: ユーザーID

件数: 50

ユーザー一覧

番号	ユーザーID	ユーザー表示名	部門	メールアドレス
0001	epson001	epson001	epson pubs	epson001@pubs.net
0002	epson002	epson002	epson pubs	epson002@pubs.net
0003	epson003	epson003	epson pubs	epson003@pubs.net
0004	epson004	epson004	epson pubs	epson004@pubs.net
0005	epson005	epson005	epson pubs	epson005@pubs.net
0006	epson006	epson006	epson pubs	epson006@pubs.net
0007	epson007	epson007	epson pubs	epson007@pubs.net
0008	epson008	epson008	epson pubs	epson008@pubs.net
0009	epson009	epson009	epson pubs	epson009@pubs.net
0010	epson010	epson010	epson pubs	epson010@pubs.net
0011				
0012				
0013				
0014				
0015				
0016				
0017				
0018				

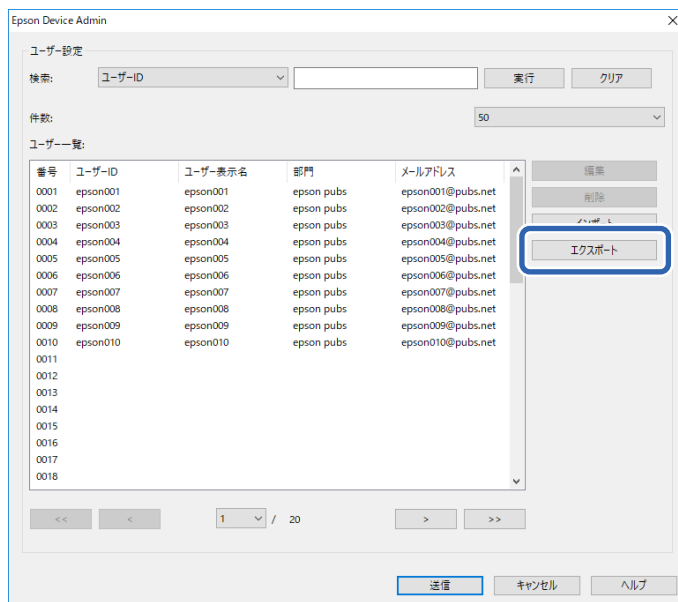
<< < 1 / 20 > >>

7. 送信確認画面で [OK] をクリックします。

8. 完了画面で [OK] をクリックします。

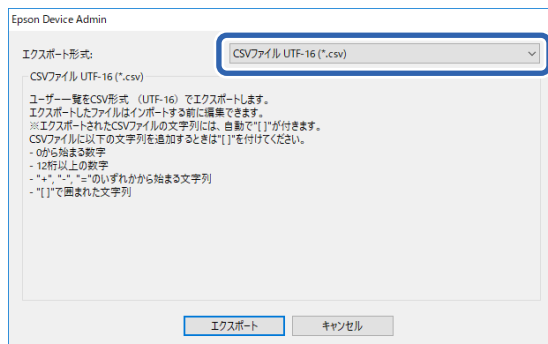
一括で編集する

1. デバイス一覧からユーザー情報をメンテナンスするスキャナーを選択します。
2. リボンメニューから [設定] - [機器利用ユーザーの編集] を選択します。
ユーザー一覧が表示されます。
3. [エクスポート] をクリックします。
エクスポート形式選択画面が表示されます。



4. ユーザー情報のエクスポート形式を選択します。

Microsoft Excel でCSVファイルを編集する場合、[CSVファイル UTF-16 (*.csv)] でエクスポートしてください。ファイル形式の詳細は次項をご覧ください。



5. [エクスポート] をクリックします。
6. ファイルの保存場所を選択し、[保存] をクリックします。
ファイルが保存されます。

7. 保存されたCSVファイルを表計算ソフト（Microsoft Excelなど）やテキストエディターなどで編集し、保存します。

！重要 ファイル編集するとき、エンコードやヘッダーの情報を変更しないでください。インポートできなくなることがあります。

8. [インポート] をクリックします。
9. [インポート元] で [CSV/ENEファイル] を選択します。



10. [参照] をクリックします。
ファイル選択画面が表示されます。
11. インポートするファイルを選択して [開く] をクリックします。
12. インポート方法を選択します。
- 上書き、追加する：同じユーザーIDがある場合は上書きし、ない場合は追加します。
 - 全て置き換える：インポートするユーザー情報に全て置き替えます。
13. [OK] をクリックします。
確認画面が表示されます。
14. [OK] をクリックします。
読み込み内容の検証が始まり、結果を表示します。

参考 [有効なユーザー数] をクリックするとユーザー情報の削除画面が開きます。ユーザー情報を選択して [削除] をクリックすると、インポート前にユーザー情報を削除できます。

15. [インポート] をクリックします。

エクスポート形式

項目	説明
CSVファイル UTF-16 (*.csv)	Unicode (UTF16) にエンコードされた、タブ区切りのCSVファイルにエクスポートします。

項目	説明
CSVファイル UTF-8(*.csv)	Unicode (UTF8) にエンコードされた、カンマ区切りまたはセミコロン区切りのCSVファイルにエクスポートします。区切り記号は、 [オプション] - [形式設定] の [CSVデータ区切り] で設定できます。
バイナリーファイル (*.ene)	ENEファイルにエクスポートします。パスワードの設定ができます。暗号化したバイナリーファイルなので、編集できません。

Web Configを使ったスキャナーの情報確認

Web Configを使って、スキャナーの情報を確認できます。

メール通知とスナップショット

メール通知と画面のスナップショットを使うと離れたところにあるスキャナーの状態を確認できます。

メール通知の概要

スキャナーエラーなど、スキャナーにイベントが発生したときに指定したアドレスにメールで通知する機能です。宛先は5つまで登録でき、それぞれに受け取りたい通知を設定できます。この機能を使うには、設定前にメールサーバーの設定が必要です。設定項目について、詳しくはスキャナーの『システム管理者ガイド』をご覧ください。

遠隔地にあるスキャナーのパネル表示を確認する

Web Configを使って遠隔地にあるスキャナーのパネル表示を確認できます。

1. **確認したいスキャナーのWeb Configを起動します。**
メール通知を受け取っている場合は、メールに記載されているURLからWeb Configを起動できます。
2. **[情報確認] タブ - [パネルのスナップショット] の順に選択します。**
スキャナーの現在のパネルがWeb Configに表示されます。
更新する場合は、 [最新の状態へ更新] をクリックします。

関連情報

➔ [「ブラウザでWeb Configを起動する方法」 13ページ](#)

設定のバックアップ

Web Configの設定やEpson Device Adminの設定テンプレートをバックアップできます。

- ！重要**
- ライセンスキーはエクスポートでバックアップできません。テキストファイルやメモなどで記録しておくことをお勧めします。
スキャナーを入れ替えた場合は同じライセンスキーを使用できません。その場合、販売店にご相談ください。
 - Epson Print Admin Serverlessの設定をバックアップするには、ライセンスキーが設定されている状態でエクスポートしてください。

Web Config設定

Web Configで設定した設定値をファイルにエクスポートできます。アドレス帳や設定値のバックアップ、スキャナーの置き換え時などに利用できます。バイナリーファイルでエクスポートされるので編集できません。

設定をエクスポートする

スキャナーの設定値をエクスポートします。

- Web Configで [デバイス管理] タブ - [設定のエクスポート/インポート] - [エクスポート] を選択します。
- エクスポートしたい設定を選択します。
チェックが付いた項目の設定値がエクスポートされます。親のカテゴリを選択すると、子のカテゴリが同時に選択されます。ただし、IPアドレスなどネットワーク内に同じ設定値が複数あるとエラーになる項目は選択できないようになっています。
- エクスポートファイルを暗号化するために任意のパスワードを入力します。
ここで指定したパスワードはインポートするときに必要になります。パスワードを指定しない場合は何も入力しません。
- [エクスポート] をクリックします。

- ！重要** デバイス名やIPv6アドレスなどのネットワーク情報を含めてエクスポートしたいときは [本体ごとの個別設定を選択可能にする] にチェックを付けて、項目を選択してください。なお、この項目をチェックしてから選択した設定値は、スキャナーの置き換え時のみにお使いください。

関連情報

➔ [「ブラウザでWeb Configを起動する方法」 13ページ](#)

設定をインポートする

Web Configの設定ファイルをスキャナーにインポートします。

重要

- ライセンスキーは設定ファイルに含まれません。Epson Print Admin Serverlessが無効になっている場合は、インポートする前に [Epson Open Platform] タブ - [プロダクトキー/ライセンスキー] でプロダクトキーを入力して、Epson Print Admin Serverlessを有効にしてください。
- スキャナー名やIPアドレスなどの個別情報を含む設定値をインポートするときは、同一のネットワーク内に同じIPアドレスを持つスキャナーが存在しないことを確認してください。IPアドレスが重複する場合は、インポートしても内容は反映されません。

1. Web Configで [Epson Open Platform] タブ - [プロダクトキー/ライセンスキー] を選択し、[プロダクトキー/ライセンスキー] にライセンスキーを入力します。
2. [デバイス管理] タブ - [設定のエクスポート/インポート] - [インポート] を選択します。
3. エクスポートされたファイルを選択し、暗号化パスワードを入力します。
4. [次へ] をクリックします。
5. インポートする設定を選択して [次へ] をクリックします。
6. [設定] をクリックします。
設定がスキャナーに反映されます。

関連情報

- ➔ [「ブラウザでWeb Configを起動する方法」 13ページ](#)

Epson Device Admin設定テンプレート

設定テンプレートをファイルに保存、読み込みできます。

デバイスリストやスキャナー情報などのバックアップについては、Epson Device Adminのマニュアルをご覧ください。

設定テンプレートをバックアップする

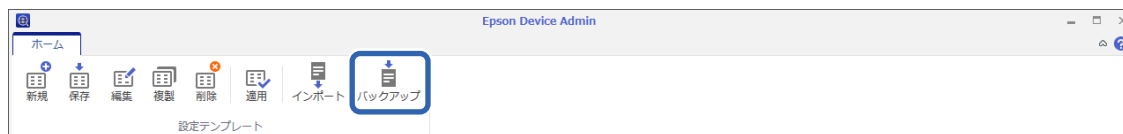
1. サイドバータスクメニューで [設定] を選択します。
2. テンプレートリストからバックアップする設定テンプレートを選択します。

プリセットの設定テンプレートは選択できません。



複数のスキャナーやグループを選択するときは、[Ctrl] または [Shift] を押したままクリックして選択してください。

3. リボンメニューで [バックアップ] をクリックします。

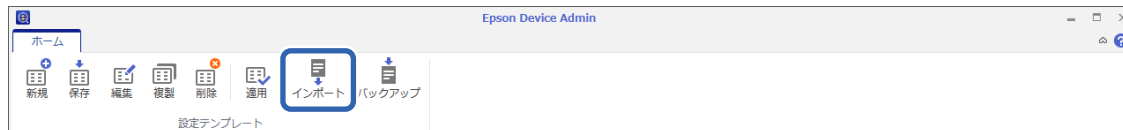


4. 保存場所を選択してファイルに名前を付けます。
5. [保存] をクリックします。
TSE形式のテンプレートファイルが保存されます。

設定テンプレートをインポートする

あらかじめ設定テンプレートがまとめられている Zip ファイルを解凍して、設定テンプレートファイル（TSE 形式）を取り出してください。



1. サイドバタスクメニューで [設定] を選択します。
2. リボンメニューから [インポート] をクリックします。
ファイルインポートの画面が表示されます。



3. インポートする設定テンプレートファイル（TSE 形式）を選択します。
4. [開く] をクリックします。
設定テンプレートがインポートされ、結果が表示されます。
5. [OK] をクリックします。



操作パネルから管理者としてログオンする

以下の方法で、スキャナーの操作パネルから管理者としてログオンできます。

1. [ようこそ] 画面（認証の待ち受け画面）が表示されているときに、 ボタンを押します。
ホーム画面が表示されます。
2. 画面右上の  をタップします。
3. [管理者] を選択します。

4. 管理者のパスワードを入力します。

ログオン完了のメッセージが表示され、操作パネルのホーム画面が表示されます。

ログオフするときは、画面右上の  をタップするか、 ボタンを押してログオフします。

Epson Print Admin Serverlessの無効設定

Epson Print Admin Serverlessの設定を無効にします。

！重要 Epson Print Admin Serverlessを無効にしてから再度有効にすると、設定されていた値が初期化されます。無効にする前に設定のバックアップをお勧めします。

関連情報

➔ [「設定のバックアップ」90ページ](#)

Web Configから無効にする

Web Configを使って、Epson Print Admin Serverlessのライセンスを無効にできます。

1. Web Configで [Epson Open Platform] タブ - [プロダクトキー/ライセンスキー] を選択します。

2. [プロダクトキー/ライセンスキー] のプロダクトキーを削除します。

3. [次へ] をクリックします。

設定内容が表示されます。

4. [設定] をクリックします。

設定がスキャナーに送信され、通信が遮断されます。しばらくたってからブラウザの画面を更新します。

5. [Epson Open Platform] タブ - [プロダクトキー/ライセンスキー] を選択します。

Epson Print Admin Serverlessのメニューが非表示になっていればEpson Print Admin Serverlessは無効です。

 **参考** ユーザー情報、ログはEpson Print Admin Serverlessが無効になっても保持しています。これらはスキャナー設定を工場出荷時の設定に戻すと削除できます。

関連情報

➔ [「ブラウザでWeb Configを起動する方法」13ページ](#)

困ったときは

認証カードが読みとれない

以下を確認してください。

- 認証装置がスキャナーに正しく接続されているか
認証装置は、スキャナーの背面にある外部機器接続用USBポートに接続します。
- 動作確認している認証装置や認証カードかどうか
動作確認している認証装置や認証カードは販売店にお問い合わせください。

Web Configにアクセスできない

スキャナーのIPアドレスが設定されていない

スキャナーに有効なIPアドレスが設定されていない可能性があります。スキャナーの操作パネルでIPアドレスを設定してください。スキャナーの操作パネルから現在の設定情報が確認できます。

WebブラウザがSSL/TLSの暗号強度に対応していない

SSL/TLSには暗号強度があります。Web Configは以下のメッセージ暗号化をサポートしているブラウザで起動できます。使用しているブラウザが対応しているか確認してください。

- 80bit : AES256/AES128/3DES
- 112bit : AES256/AES128/3DES
- 128bit : AES256/AES128
- 192bit : AES256
- 256bit : AES256

CA署名証明書の有効期限が切れた

証明書の有効期限に問題がある場合、Web ConfigにSSL/TLS通信 (https) で接続したときに「有効期限が切れている」と表示されます。証明書の有効期限内に表示される場合は、スキャナーの時刻が正しく設定されているか確認してください。

証明書とスキャナーのコモンネームが一致していない

コモンネームの不一致が起こると、Web ConfigにSSL/TLS通信 (https) で接続したときに「セキュリティー証明書の名前が一致しません...」と表示されます。これは以下のIPアドレスが一致していないために発生します。

- 自己署名証明書の作成や更新時、CSRの作成時にコモンネームで記述したスキャナーのIPアドレス
- Web Configの起動時にブラウザに入力したIPアドレス

自己署名証明書の場合は証明書を更新してください。

CA署名証明書の場合は該当のスキャナー用に証明書を取得し直してください。

ブラウザにローカルアドレスのプロキシサーバー設定がされていない

スキャナーでプロキシサーバーを使用する設定にしている場合、ブラウザでローカルアドレスへの接続にプロキシサーバーを経由しないよう設定します。

- Windows :
[コントロールパネル] - [ネットワークとインターネット] - [インターネットオプション] - [接続] - [LANの設定] の [プロキシ サーバー] で、LAN (ローカルアドレス) にプロキシサーバーを使わない設定にします。
- Mac OS :
[システム環境設定] (または [システム設定]) - [ネットワーク] - [詳細] - [プロキシ] で [プロキシ設定を使用しないホストとドメイン] にローカルアドレスを登録します。

記入例 :

192.168.1.* : ローカルアドレス 192.168.1.XXX、サブネットマスク 255.255.255.0の場合

192.168.*.* : ローカルアドレス 192.168.XXX.XXX、サブネットマスク 255.255.0.0の場合

コンピューターの設定でDHCPが無効になっている

コンピューターの設定で、IPアドレスを自動的に取得するDHCPが無効になっている場合は、Web Configにアクセスできないことがあります。DHCPを有効にしてください。

Windows 10の設定例 :

コントロールパネルを開き、[ネットワークとインターネット] - [ネットワークと共有センター] - [アダプターの設定の変更] の順にクリックします。お使いの接続のプロパティ画面を起動し、[インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)] または [インターネットプロトコルバージョン6 (TCP/IPv6)] のプロパティ画面を開きます。表示された画面で [IPアドレスを自動的に取得する] が選択されていることを確認します。

Epson Print Admin Serverlessを有効にできない

Web ConfigやEpson Device Adminで正しいライセンスキーを入力したか確認してください。

ライセンスキーが期限切れと表示される

ライセンスキーの有効期間内で、ライセンスキーの期限が切れていると表示される場合、スキャナーの時刻設定が正しいか確認してください。

ライセンスの有効期間は販売店へお問い合わせください。

Epson Device Adminのレポートに内容がない

Epson Device Adminでユーザー単位の利用レポートや部門単位の利用レポート、ジョブ履歴のレポートに内容がない場合、以下を確認してください。

- Epson Device Adminにスキャナーの管理者パスワードを登録しているか
Epson Device Adminにスキャナーの管理者パスワードを登録していないと、スキャナーからジョブ履歴を収集できません。
登録の手順は以下を参照してください。
[「Epson Device Adminにスキャナーの管理者パスワードを登録する」15ページ](#)
- スキャナーの管理者パスワードを変更した場合、[オプション] - [パスワード管理] で登録したパスワードを更新したか
- Epson Print Admin Serverlessのライセンスキーが、Epson Device Adminで認識されているか
以下の手順でライセンスの状態を確認してください。
1. Epson Device Adminを起動して、デバイスリストから対象のスキャナーを選択します。
2. デバイス詳細情報の [Epson Print Admin Serverless] - [ライセンスの種類] の表示を確認します。
設定したにもかかわらずライセンスキーが認識されていない場合は、リボンメニューで [全てのデバイス] または [選択したデバイス] をクリックしてデータ取得を実行してみてください。
- 認証方式で [みなし認証] を選択している場合は、部門別の集計はできません。

付録

スキャナーに記録されるユーザー情報

スキャナーに記録されるユーザー情報と削除方法は以下の通りです。

情報	削除方法
Epson Print Admin Serverless ユーザー設定 <ul style="list-style-type: none"> ユーザーID ユーザー表示名 パスワード 認証カードID 部門 メールアドレス 	Web Config - [Epson Open Platform] タブ - [Epson Print Admin Serverless] - [ユーザー設定] で、[全削除] または [削除] を選択します。
Epson Print Admin Serverless ジョブ履歴	スキャナーの操作パネルに管理者としてログオンして、[設定] - [管理者用設定] - [購入時の設定に戻す] - [全ての設定] を選択します。 !重要 アドレス帳やその他のネットワーク設定も全て消去されます。消去した設定は復元できません。

商標

- Microsoft、Windows、Windows Server、Excel、Microsoft Edge、Internet Explorerは、マイクロソフトグループの企業の商標です。
- Apple、macOS、OS X、Safariは米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
- Chrome は Google LLC の商標です。
- Firefox is a trademark of the Mozilla Foundation in the U.S. and other countries.
- その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

© 2024-2026 Seiko Epson Corporation

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。

付録

- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適當に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。